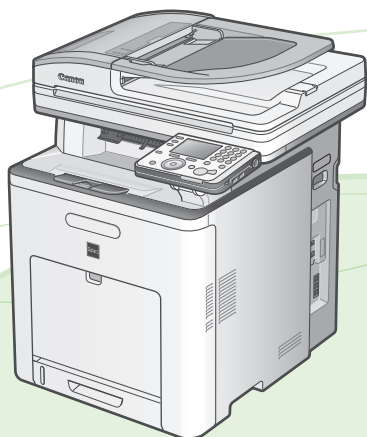
Canon

Satera MF9220Cdn

スタートアップガイド

こんなことができます

目的の機能を使用するための設定

本製品のセットアップ

コンピュータとソフトウェア設定

付録

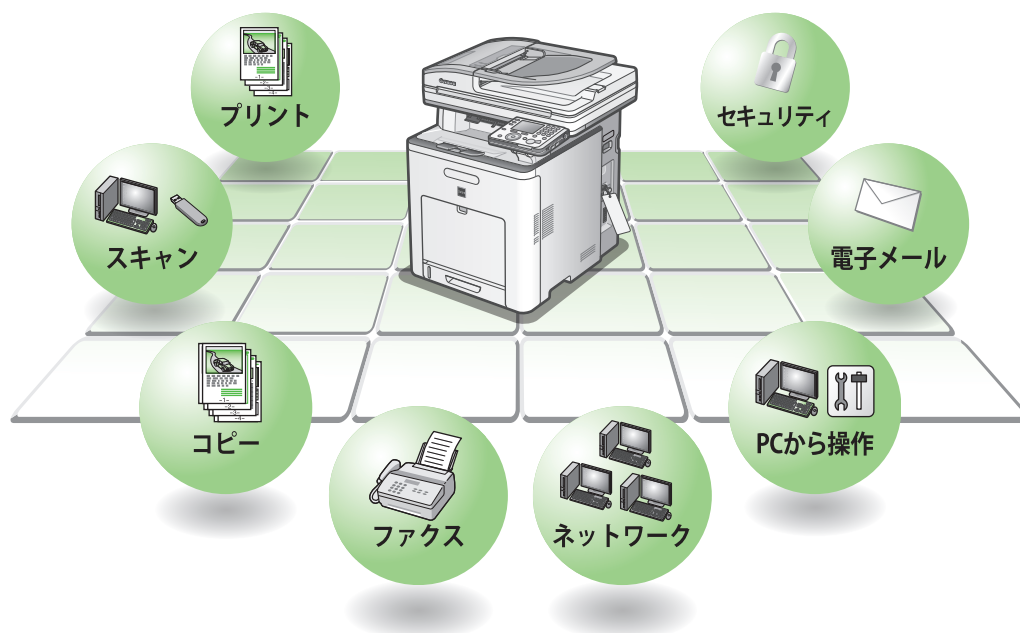
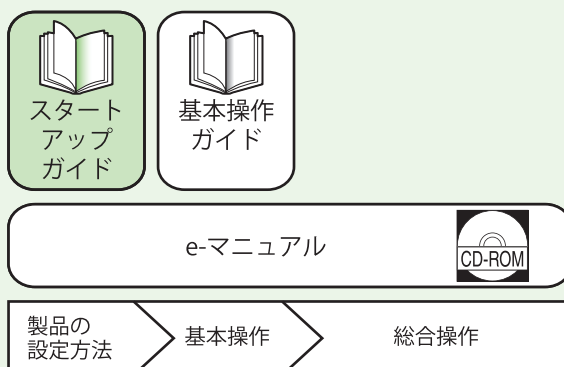
最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
安全にお使いいただくための注意事項は「基本操作ガイド」に記載されています。こちらもあわせてお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

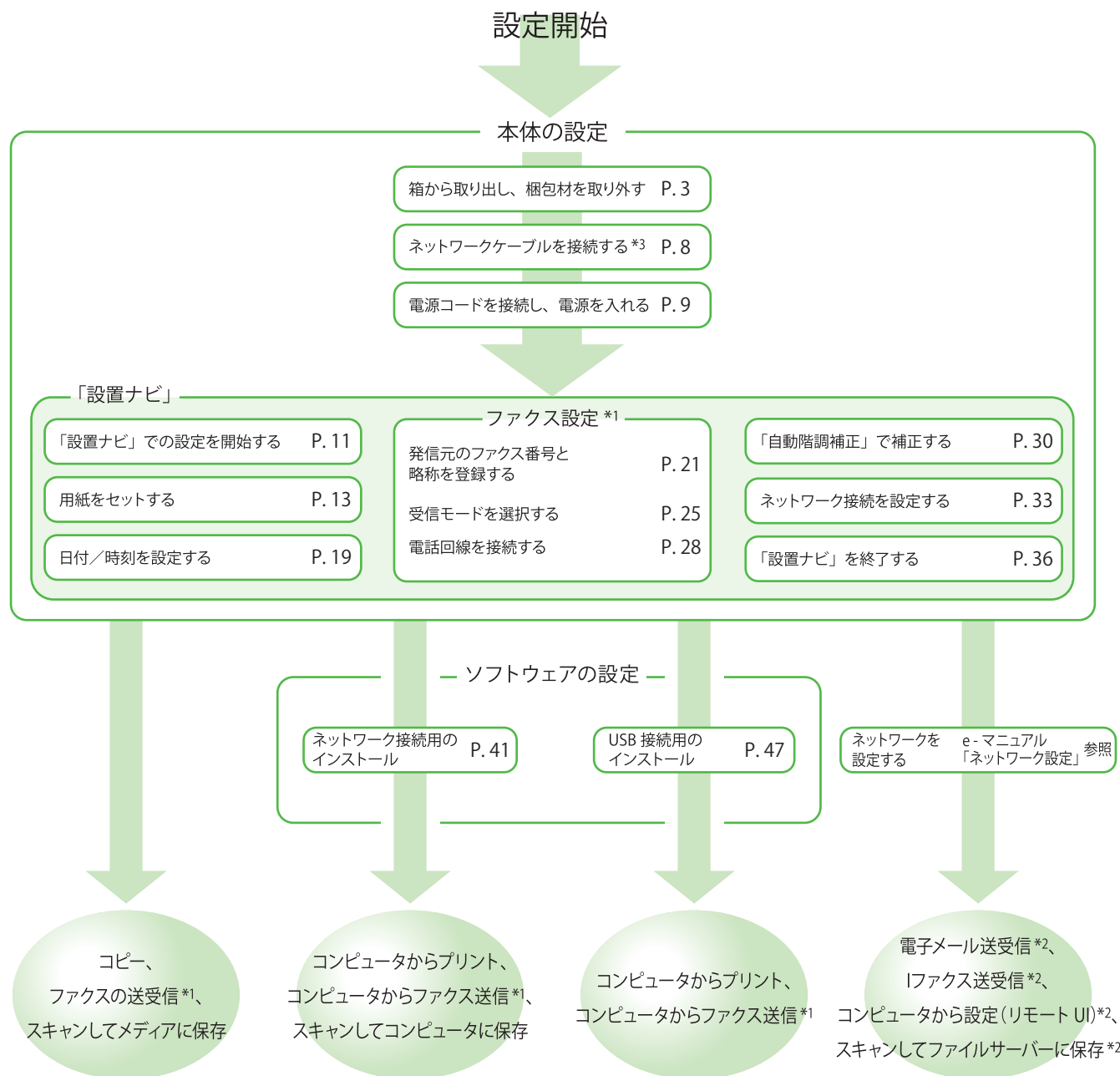
目次

こんなことができます

本マニュアルでは、以下の図の機能を使用するために必要な本体の設定方法とソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能内容については、基本操作ガイドまたは e- マニュアルを参照してください。

同梱のマニュアル

- スタートアップガイド（本書）：本製品の設定およびソフトウェアのインストールについて説明しています。ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 基本操作ガイド：基本的な操作について説明しています。
- e- マニュアル：コンピュータの画面に表示して見るマニュアルです。すべての操作について説明しています。（スタートアップガイドと基本操作ガイドの内容も含まれています。）

1 目的の機能を使用するための設定

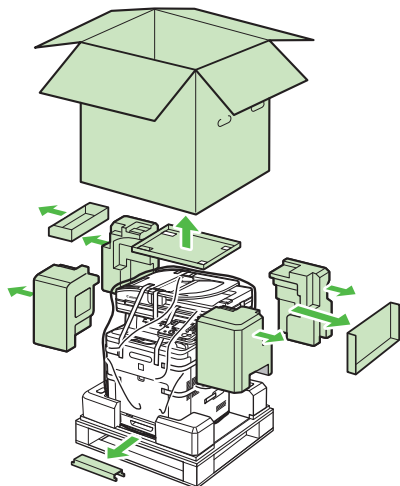
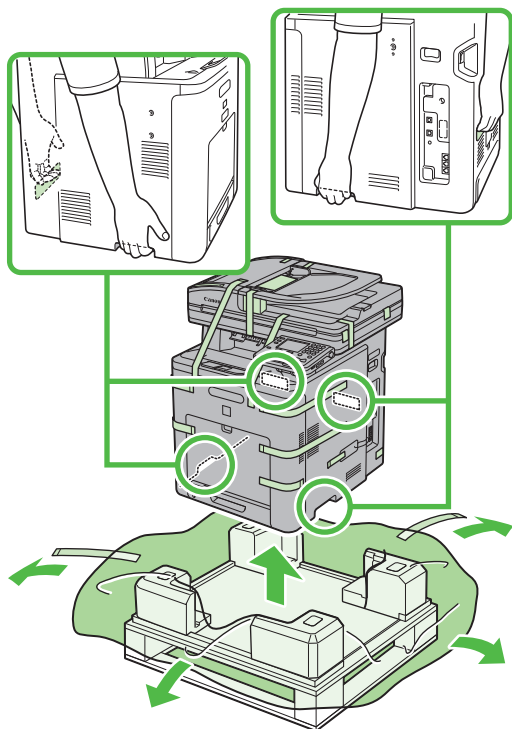
各機能（コピー、ファクス、プリント、スキャン、PC プリント、PC ファクス、リモート UI、電子メール、I ファクス、メディアスキャン、ファイルサーバースキャン）を使用するには、以下の流れに沿って設定してください。
例えば、コピー機能を使用する場合は「本体の設定」を設定します。

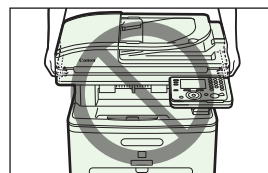
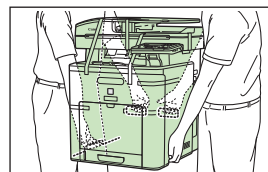
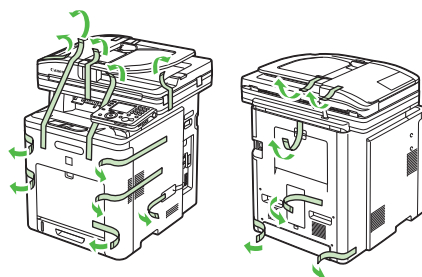
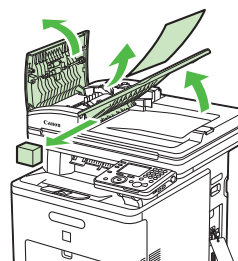
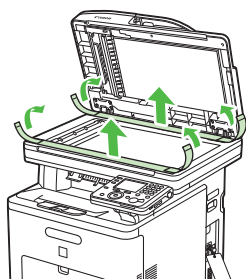
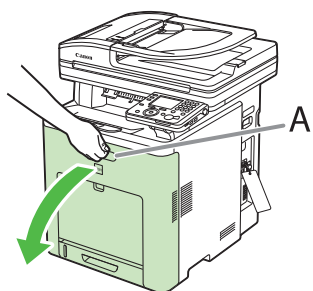
Satera MF9220Cdn 設定の流れ

*1 ファクスを使用する場合は、電話線を接続する必要があります。（→電話回線を接続する：P.28）
*2 ネットワークに接続されている必要があります。（電子メール、I ファクス、ファイルサーバースキャンを使用するには、それぞれの機能での設定が必要です。）
*3 この時点で USB ケーブルは接続しないでください。USB ケーブルはソフトウェアのインストールのときに接続します。
（本製品とコンピュータをネットワーク接続して使用する場合は、USB ケーブルは使用しません。）

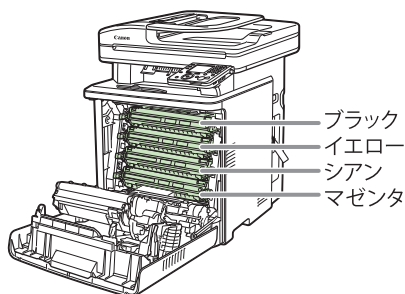
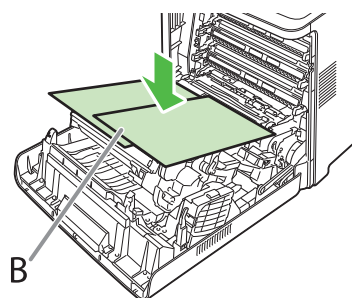
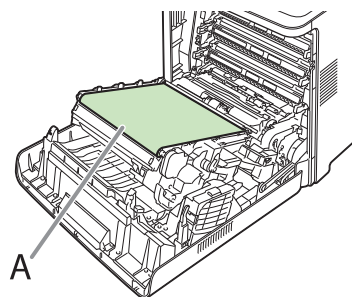
本製品のセットアップ

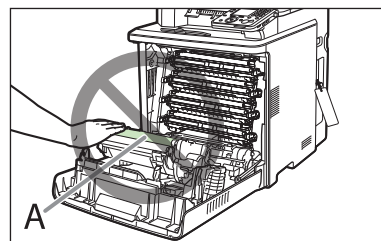
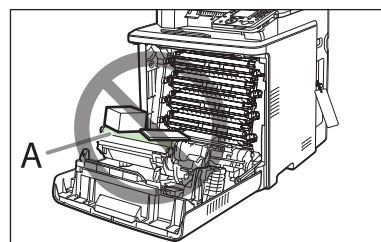
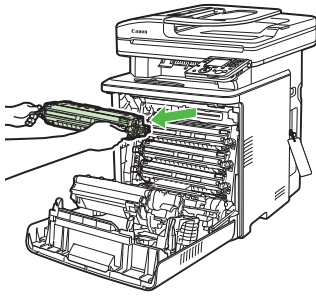
箱から取り出し、梱包材を取り外す

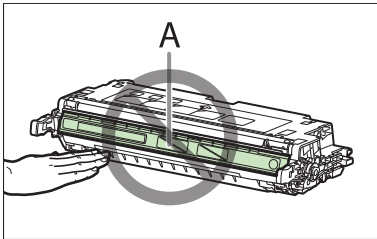
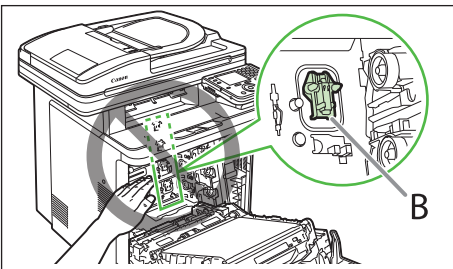
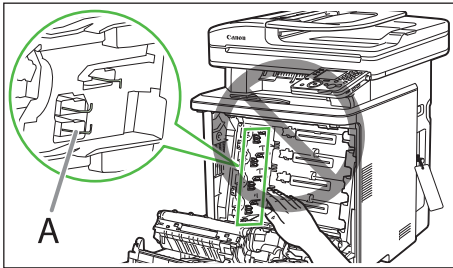
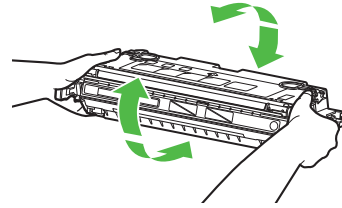
梱包用のテープと緩衝材をすべて取り外します。

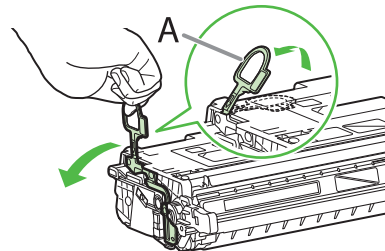
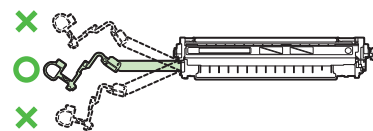
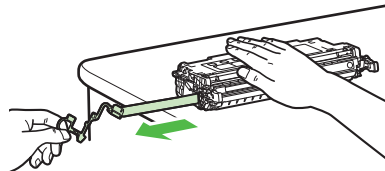
1 外箱の取っ手を持って持ち上げ、梱包材を取り除きます。

2 ビニールを取り除き、本製品をパレットから移動させせます。

メモ

本体を動かすときは、図に示すように2人で本体の左右と後部にある把手を持ってください。

3 テープを取り除きます。

4 フィーダーのカバーを開いて保護用紙（A5）を取り除き、次に原稿給紙トレイを上げて緩衝材を取り除きます。

5 フィーダーを開き、原稿台からテープと緩衝材を取り除きます。

6 前面の取っ手（A）を持って前面カバーを開けます。

 メモ

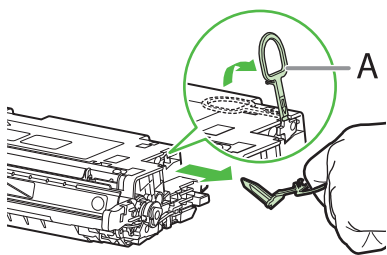
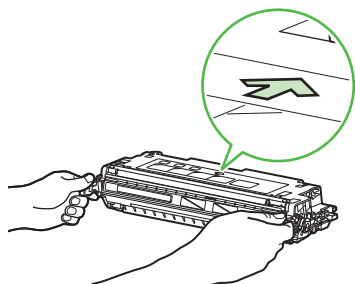
トナーカートリッジは、上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順に取り付けられています。

7 搬送ベルトを保護するために排紙搬送ユニットの搬送ベルト（A）の上に、A4 の用紙（B）を 2 枚並べて置きます。

メモ

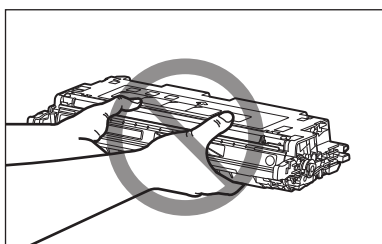
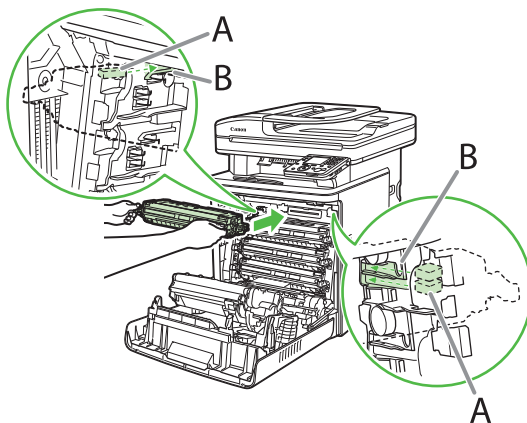
- トナーカートリッジを着脱するときは、排紙搬送ユニットの搬送ベルト（A）を保護するため、必ず用紙を搬送ベルト（A）の上に置いて作業を行ってください。
- 排紙搬送ユニットの上に物を置いたり、排紙搬送ユニットの搬送ベルト（A）に触れたりしないでください。また、排紙搬送ユニットの搬送ベルト（A）は自動的に清掃する機能が付いていますので、トナーが付着している場合でも清掃しないでください。排紙搬送ユニットが破損したり搬送ベルト（A）に傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。

8 トナーカートリッジの左右にある青色の取っ手を持ち、水平に引き抜きます。

メモ

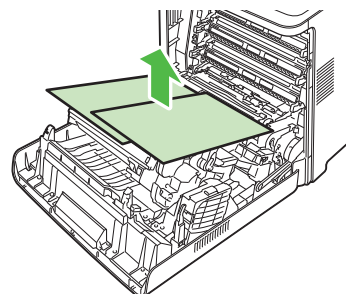
- ドラム保護シャッター（A）を開けないでください。

- 図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。故障の原因になることがあります。

9 トナーカートリッジをゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

10 トナーカートリッジを平らな場所に置き、左側にあるタブ（A）を持ち上げます。

11 シーリングテープ（約 48 cm）は、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐに引き抜きます。

メモ

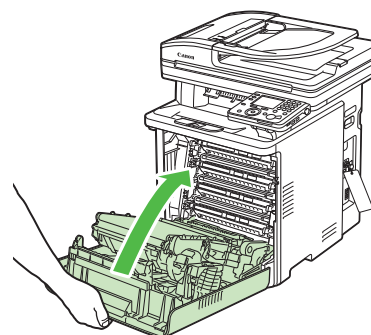
- 引き抜いたシーリングテープには、トナーが付着していることがあります。手や衣服を汚さないように注意してください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うと、トナーが定着し、落ちなくなります。

12 トナーカートリッジの右側のタブ（A）に指をかけ、梱包材を取り外します。

13 矢印の面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

メモ

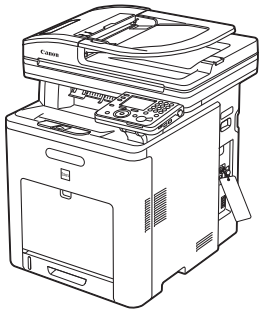
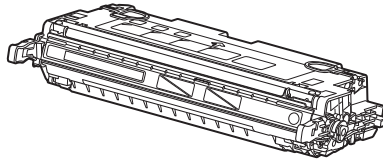
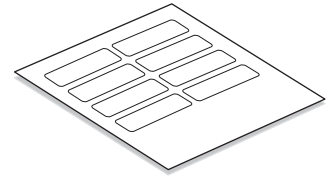
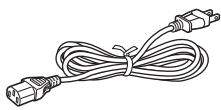
指示された以外の持ち方をしないでください。

14 トナーカートリッジの（A）を同じ色のラベルが貼られているスロット（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

15 残り3つのトナーカートリッジについて、手順3から手順9を繰り返してください。

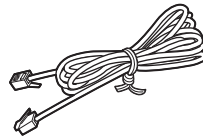
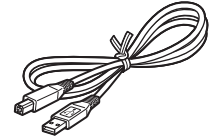
16 すべてのトナーカートリッジの梱包材を取り外し、トナーカートリッジを取り付けたら、用紙を取り除きます。

メモ

用紙を取り除くときに、排紙搬送ユニットの搬送ベルトに触れたり、傷をつけないように気を付けてください。

17 前面の取っ手を持って、前カバーを閉めます。

メモ

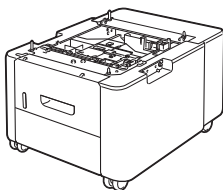
前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。

同梱品を確認する

●本体

●トナーカートリッジ（ブラック、イエロー、シアン、マゼンタ）（本体内にセットされています。）

●カスタマイズラベル

●電源コード

●アース線

●モジュラージャックコード

●USB ケーブル

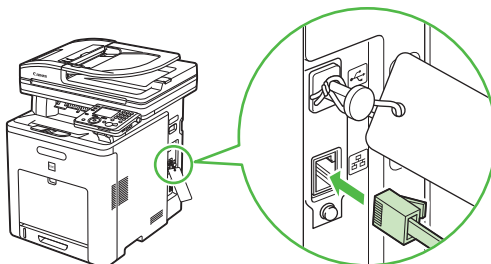
●スタートアップガイド（本書）
●基本操作ガイド
●CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM
●ユーザマニュアル CD-ROM
●保証書
●アンケートはがき
●サテラ　レーザービームプリンタ複合機　サポートガイド
●主電源ラベル

オプション品

カセットペディスタル

● 1 段カセットペディスタル・AC1

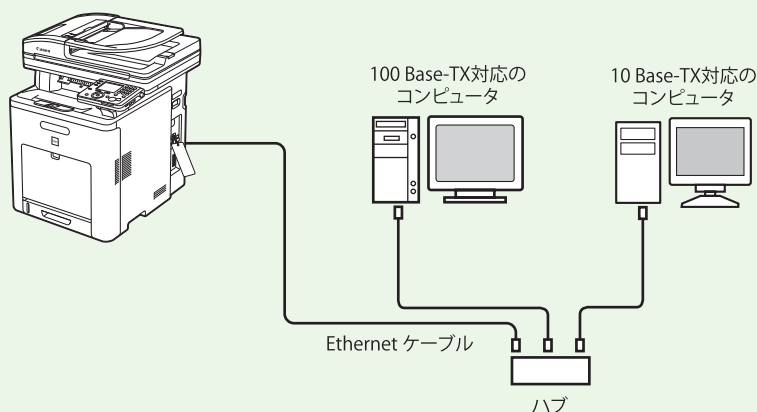
● 1 段カセットペディスタル・AC1 設置手順書

ネットワークケーブルを接続する

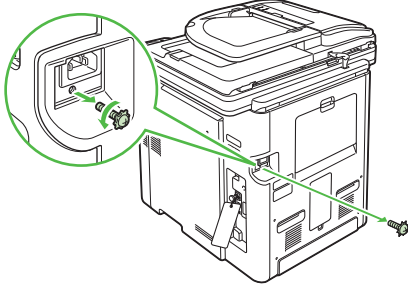
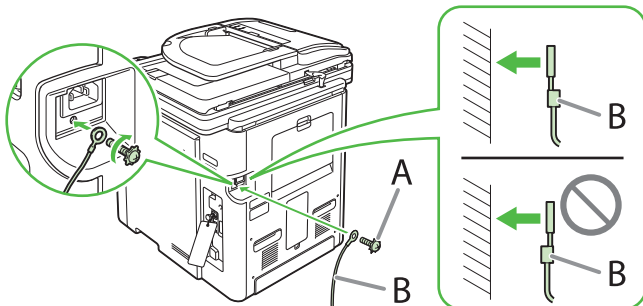
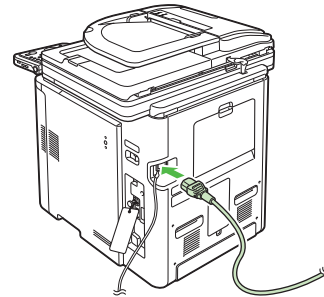
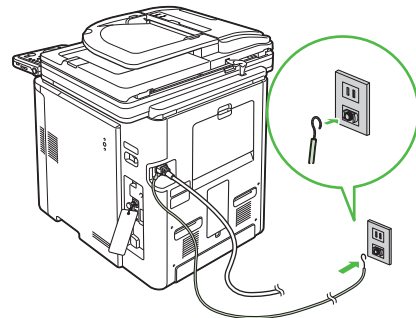
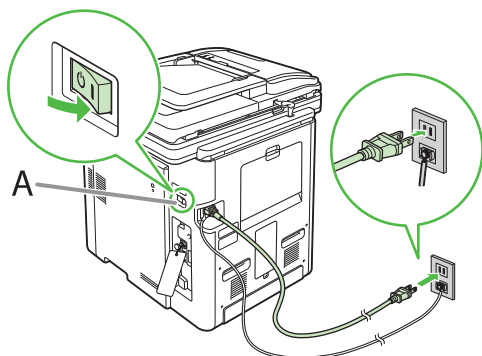
ネットワーク機能を使用するには、本製品のネットワークポートと互換性があるネットワークケーブルを接続してください。

メモ

この時点で USB ケーブルは接続しないでください。USB ケーブルはソフトウェアのインストールのときに接続します。（本製品とコンピュータをネットワーク接続して使用する場合は、USB ケーブルは使用しません。）

互換性があるネットワークケーブル

カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルは本製品と互換性があります。ケーブルの一方が本製品右側面の 10 Base-T/100 Base-TX ポートに接続されていて、ケーブルのもう一方がネットワークルータまたはハブに接続されていることを確認します。

電源コードを接続し、電源を入れる

メモ
- 本製品の包装部品とテープ、カートリッジのタブとテープが取り除かれているか確認してください。
- この時点で USB ケーブルは接続しないでください。USB ケーブルはソフトウェアのインストールのときに接続します。（本製品とコンピュータをネットワーク接続して使用する場合は、USB ケーブルは使用しません。）
- オプションの給紙カセットを使用する場合は、1 段カセットペディスタル・AC1 を装着してから電源を入れてください。

1 本体の裏側からビスを取りはずします。

2 手順 1 で取りはずしたビス（A）を使用し、アース線（B）を取り付けます。

3 電源コードを本体の裏側にある電源ソケットに差し込みます。

4 アース線のもう一方をコンセントのアース端子に接続します。

5 電源コードのプラグを電源コンセントに差し込み、主電源スイッチの（A）を押して電源を入れます。

6 「設置ナビ」が自動的に起動し、ディスプレイに表示されます。

設置ナビを開始します。

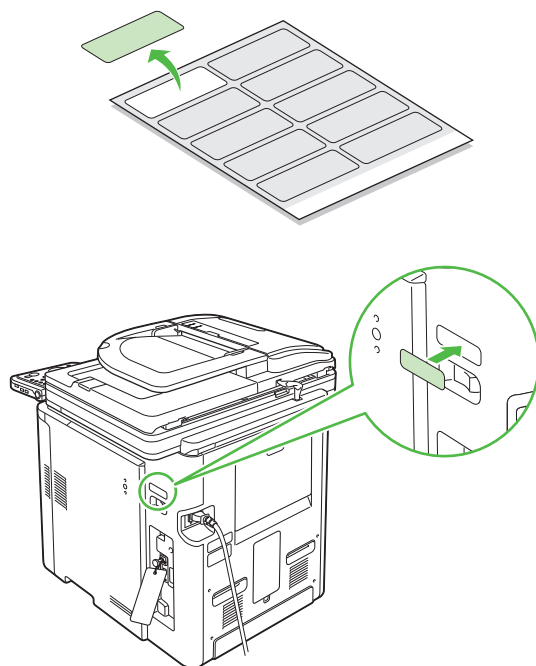
OK :次の画面へ

本製品のセットアップを行います。ガイダンスに従って進めてください。
また、取扱説明書も必ず参照しながら進めてください。

こんなときは ...

● **＜前カバーを閉めてください。＞と表示されたら：**
前面カバーがきちんと閉じているか確認してください。（→箱から取り出し、梱包材を取り外す：P.3）

● **< トナーカートリッジの再セット > と表示されたら：**
トナーカートリッジからタブが取り除かれているか、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→箱から取り出し、梱包材を取り外す：P.3）

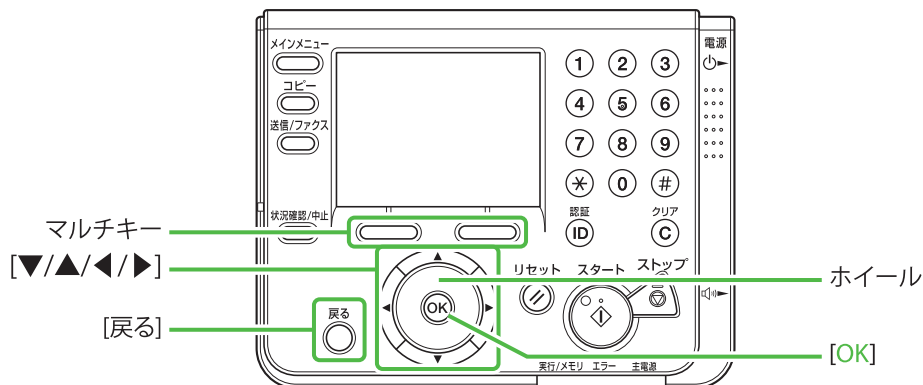
メモ
本体の主電源スイッチ上部に、主電源ラベルをお貼りください。

「設置ナビ」での設定を開始する

「設置ナビ」に従って、本製品を使用する前に必要な設定を行うことができます。

メモ

- 初めて本製品の電源を入れると、「設置ナビ」が自動的に起動します。
- 「設置ナビ」は途中で終了できません。
- 「設置ナビ」の設定中に電源を切った場合は、電源を入れ「設置ナビ」を起動し、もう一度設定をしてください。
- 「設置ナビ」の設定を完了させれば、以降本製品の電源投入時には「設置ナビ」は自動的に起動しません。
- 「設置ナビ」は設定完了後には、<初期設定 / 登録>から起動できます。（→設定した項目の変更：P.37）

● キーについて

- マルチキーを押してディスプレイ画面下に表示される項目を確定します。
- ［▼］［▲］［◀］［▶］を使ってカーソルを動かします。
- （ホイール）を回してカーソルを動かします。
- ［OK］を押して次の画面に進むか、入力した内容を確定します。
- ［戻る］を押して前の画面に戻ります。

1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

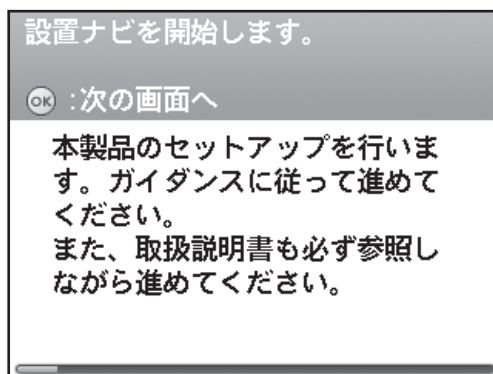
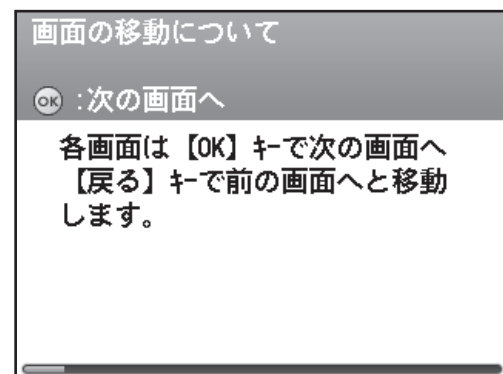
設置ナビを開始します。

OK ：次の画面へ

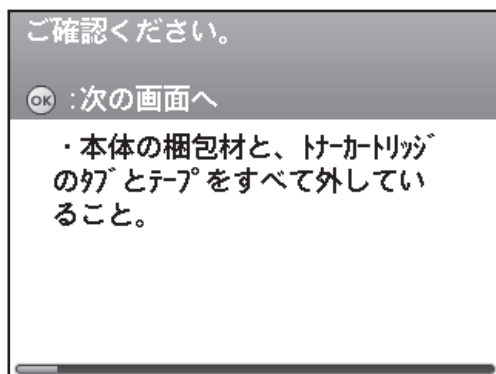
本製品のセットアップを行います。ガイダンスに従って進めてください。
また、取扱説明書も必ず参照しながら進めてください。

2 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

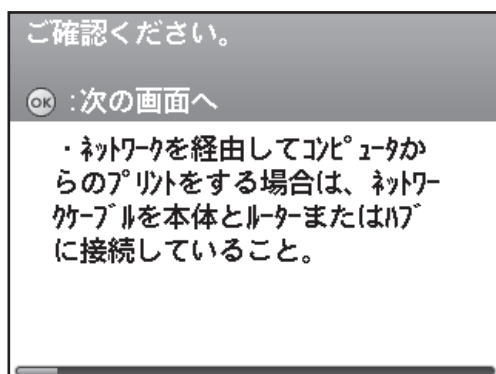
画面の移動について

OK ：次の画面へ

各画面は【OK】キーで次の画面へ【戻る】キーで前の画面へと移動します。

この画面では「設置ナビ」の操作方法について説明しています。詳細は上記の「キーについて」を参照してください。

3 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

ご確認ください。
OK :次の画面へ
・本体の梱包材と、ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞのﾀﾌﾞとﾃｰﾌﾟをすべて外していること。

この画面では本体の梱包材とトナーカートリッジのタブとテープを取り外しているか確認しています。

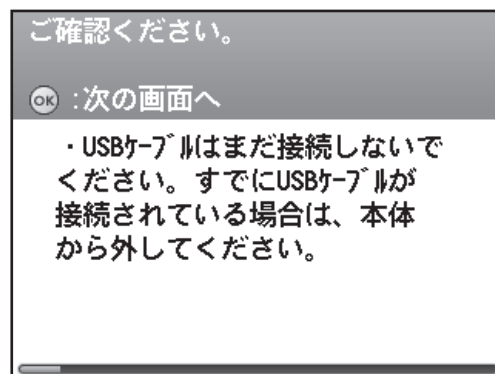
4 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

ご確認ください。
OK :次の画面へ
・ﾈｯﾄﾜｰｸを経由してｺﾝﾋﾟｭｰﾀからのﾌﾟﾘﾝﾄをする場合は、ﾈｯﾄﾜｰｸｹｰﾌﾞﾙを本体とﾙｰﾀｰまたはﾊﾌﾞに接続していること。

本製品の IP アドレス自動取得機能はネットワークケーブルを接続してから IP アドレスの自動取得を行います。

メモ

- ネットワークケーブルがまだ本製品に接続されていない場合は、「ネットワークケーブルを接続する」(→ P.8) を参照して接続してください。
- 本製品をネットワークに接続して複数人で共有して使用する場合は、ネットワークケーブルを本製品に接続してください。
- IP アドレスを手動で入力する必要がある環境の方も、この時点で必ずネットワークケーブルを接続してください。

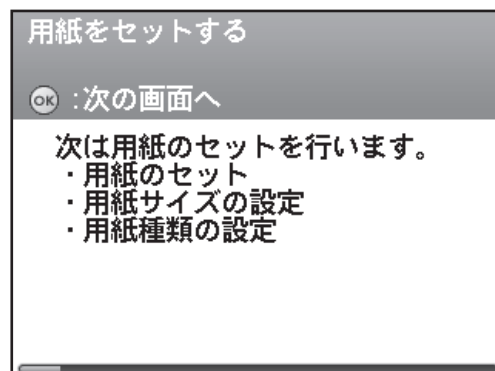
5 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

ご確認ください。
OK :次の画面へ
・USBｹｰﾌﾞﾙはまだ接続しないでください。すでにUSBｹｰﾌﾞﾙが接続されている場合は、本体から外してください。

本製品をネットワークに接続しないで、USB ケーブルで直接コンピュータに接続して個人用プリンタとしてお使いになる場合も、この時点ではまだ USB ケーブルを接続しないでください。

メモ

USB ケーブルはソフトウェアのインストールのときに接続します。(本製品とコンピュータをネットワーク経由で接続する場合は、USB ケーブルは使用しません。)

6 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

用紙をセットする
OK :次の画面へ
次は用紙のセットを行います。
・用紙のセット
・用紙サイズの設定
・用紙種類の設定

「用紙をセットする」**(→ P.13)****に進んでください。**

メモ

本製品にトナーカートリッジがセットされていなかったり、トナーカートリッジのテープとタブが取り除かれていない場合は、この画面の前に<カートリッジ再セット>画面が表示されます。トナーカートリッジを正しくセットしてください。(→箱から取り出し、梱包材を取り外す：P.3)

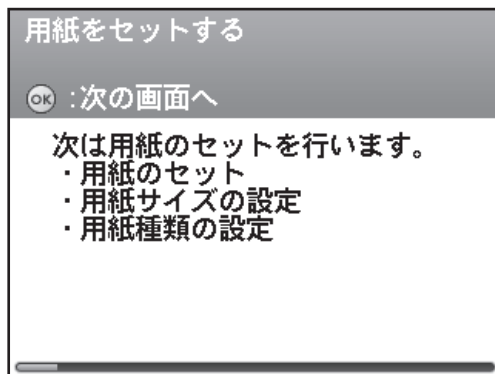
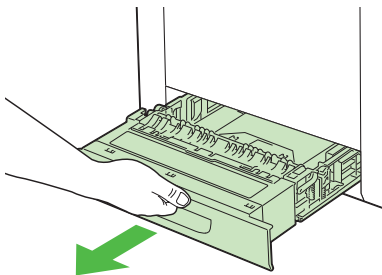
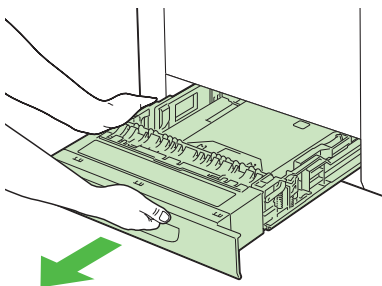
用紙をセットする

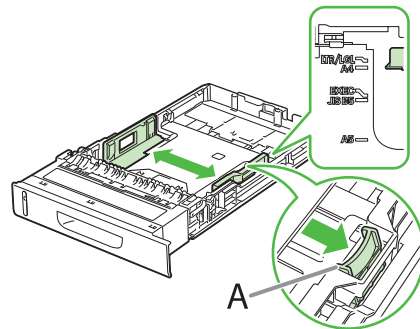
「設置ナビ」に従って、給紙カセットに用紙をセットし、セットした用紙のサイズを設定します。「設置ナビ」の各画面はアニメーションで表示されます。

1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

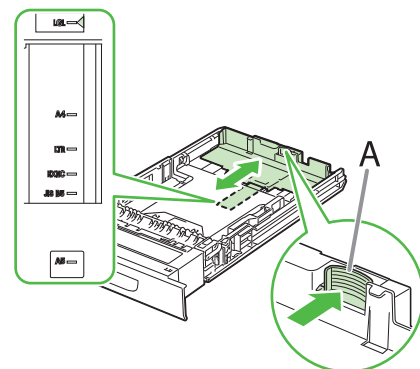
用紙をセットする

OK :次の画面へ

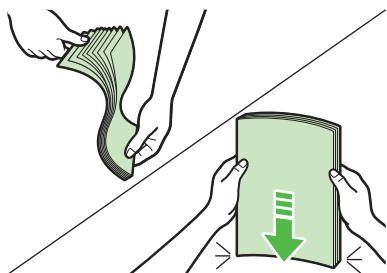
次は用紙のセットを行います。
・用紙のセット
・用紙サイズの設定
・用紙種類の設定

2 給紙カセットを引き出します。

3 両手で持って、本体から取り外します。

4 [OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

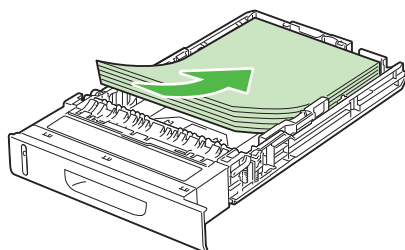
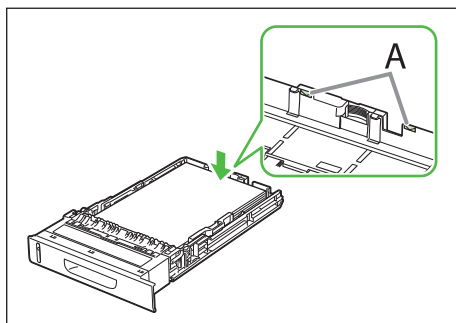
5 側面の用紙ガイドのロック解除レバー (A) をつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。側面の用紙ガイドは左右が連動します。

必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

6 [OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

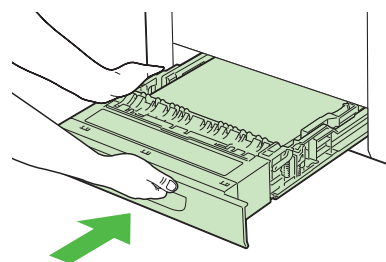
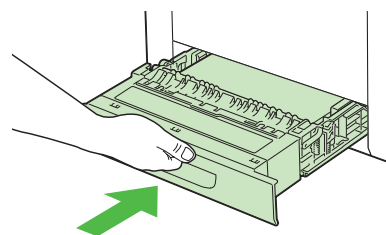
7 後端の用紙ガイドのロック解除レバー (A) をつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

8 [OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

9 用紙をよくさばき、端を揃えます。

10 プリントする面を上にして用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

メモ

- 用紙が積載制限マーク（A）を超えていないかを確認します。

- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、約 250 枚（60 ～ 80 g/m^2）です。

11 ［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

12 両手で持って、給紙カセットを本体にセットします。

13 しっかりと奥まで押し込みます。

メモ

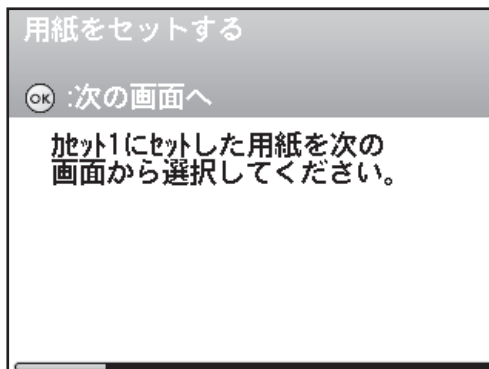
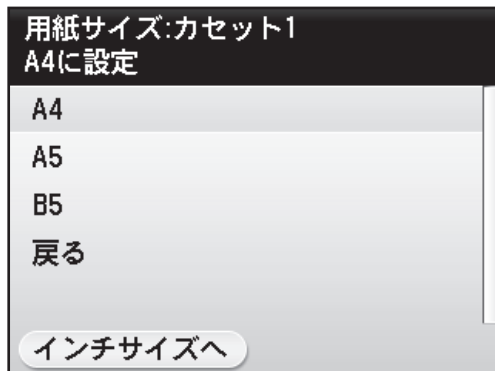
- 手差しトレイに用紙をセットする方法については、e- マニュアル「本機の紹介」を参照してください。
- 「設置ナビ」で設定した用紙以外の用紙をセットするには、本体の用紙設定を変更する必要があります。「設定した項目の変更」（→ P.37）を参照してください。

14 ［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

15 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

用紙をセットする

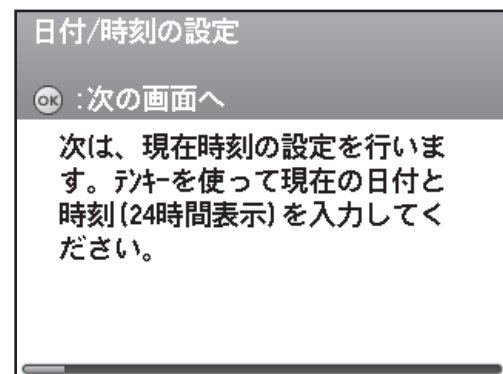
OK :次の画面へ

ｶｾｯﾄ1にｾｯﾄした用紙を次の
画面から選択してください。

16 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使ってセットした用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

 メモ
インチサイズの用紙をセットした場合は、マルチキー（左）を使って<インチサイズへ>を選択してください。

17 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使ってセットした用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

用紙種類:カセット1
普通紙1に設定
普通紙1
普通紙2
再生紙
色紙
ボンド紙
厚紙1

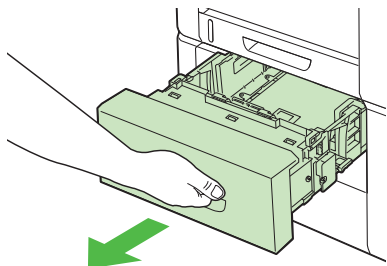
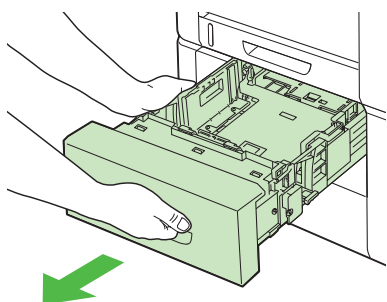
18 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

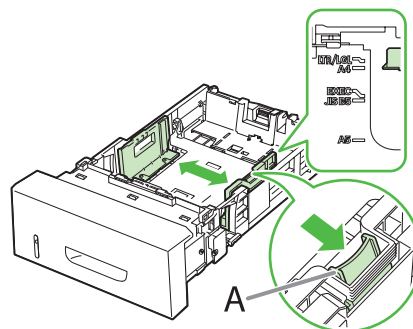
日付/時刻の設定
OK :次の画面へ
次は、現在時刻の設定を行います。テンキーを使って現在の日付と時刻（24時間表示）を入力してください。

「日付／時刻を設定する」（→ P.19）に進んでください。

 メモ
オプションの給紙カセットが装着されている場合はこの画面は表示されません。「オプションの給紙カセット」（→ P.16）に進んでください。

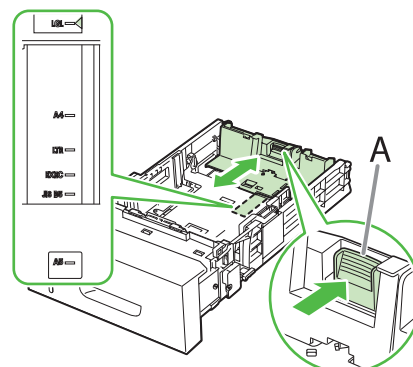
オプションの給紙カセット

オプションの給紙カセットが装着されている場合のみ、オプションの給紙カセットに用紙をセットするための手順が「設置ナビ」に表示されます。

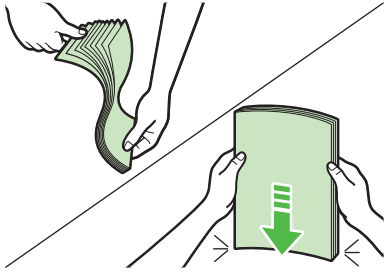
1 オプションの給紙カセットを引き出します。

2 両手で持って、本体から取り外します。

3 [OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

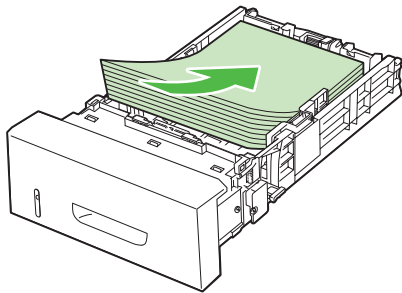
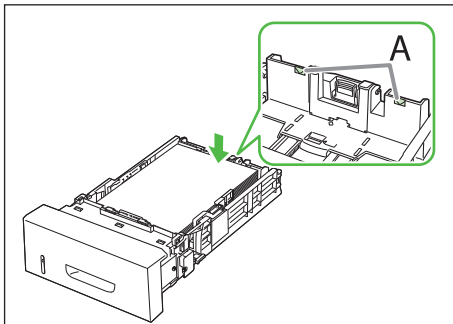
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバー (A) をつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。側面の用紙ガイドは左右が連動します。

必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

5 [OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

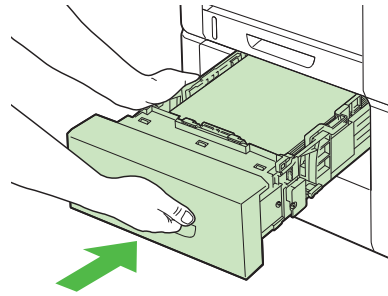
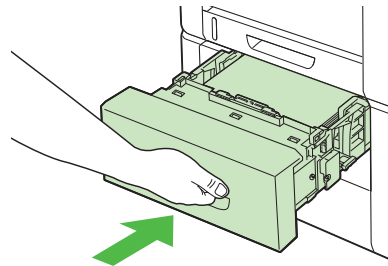
6 後端の用紙ガイドのロック解除レバー (A) をつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。

7 ［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

8 用紙をよくさばき、端を揃えます。

9 プリントする面を上にして用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

メモ

- 用紙が積載制限マーク（A）を超えていないかを確認します。

- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、約 500 枚（60 ～ 80 g/m^2）です。

10 ［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

11 両手で持って、オプションの給紙カセットを本体にセットします。

12 しっかりと奥まで押し込みます。

メモ

- 手差しトレイに用紙をセットする方法については、e- マニュアル「本機の紹介」を参照してください。
- 「設置ナビ」で設定した用紙以外の用紙をセットするには、本体の用紙設定を変更する必要があります。「設定した項目の変更」（→ P.37）を参照してください。

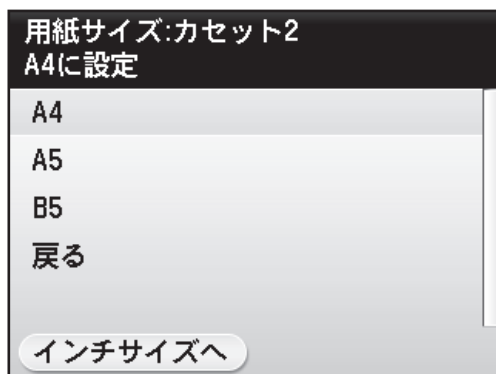
13 ［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

14 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

用紙をセットする

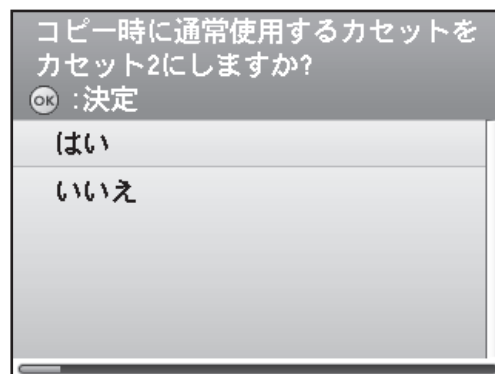
OK :次の画面へ

ｶｾｯﾄ2にｾｯﾄした用紙を次の
画面から選択してください。

15 ［▼］、［▲］または（ホイール）を使ってセットした用紙サイズを選択し、［OK］を押します。

メモ
インチサイズの用紙をセットした場合は、マルチキー（左）を使って＜インチサイズへ＞を選択してください。

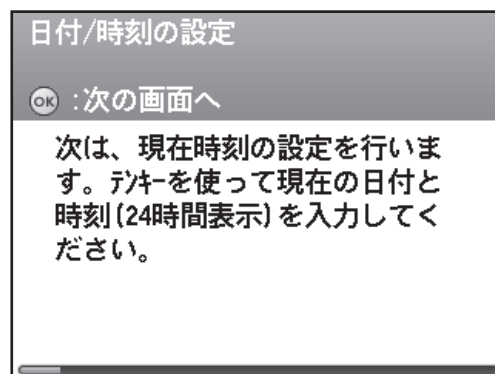
16 ［▼］、［▲］または（ホイール）を使ってセットした用紙の種類を選択し、［OK］を押します。

用紙種類:カセット2
普通紙1に設定
普通紙1
普通紙2
再生紙
色紙
ボンド紙
厚紙1

17 ［▼］、［▲］または（ホイール）を使って＜はい＞または、＜いいえ＞を選択し、［OK］を押します。

コピー時に通常使用する給紙段をカセット 2（オプションの給紙カセット）にセットする場合は、ここで＜はい＞を選択してください。＜いいえ＞を選択するとコピー時に通常使用する給紙段はカセット 1（給紙カセット）になります。
コピーの標準モードの詳細は e- マニュアル「コピーする」を参照してください。

メモ
給紙カセットの初期値はカセット 1 （給紙カセット）です。

18 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認ます。

日付/時刻の設定
OK :次の画面へ
次は、現在時刻の設定を行います。テンキーを使って現在の日付と時刻（24時間表示）を入力してください。

「日付／時刻を設定する」（→ P.19）に進んでください。

日付／時刻を設定する

本製品を使用する前に必ず、現在の日付と時刻を設定してください。

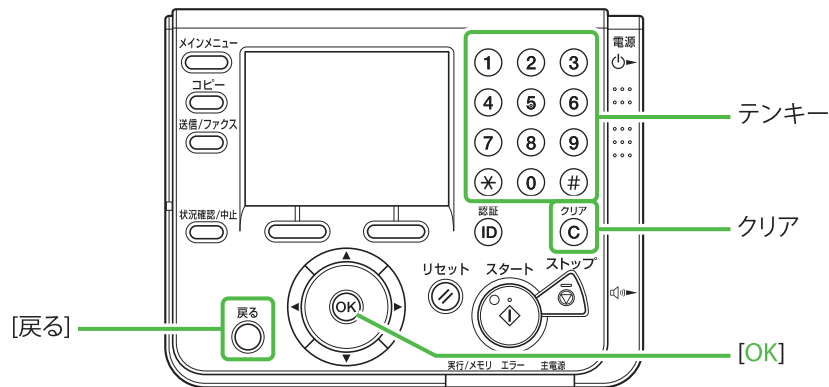
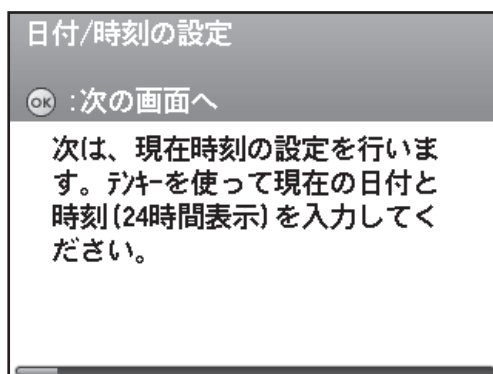
●キーについて

- ⓪－⑨（テンキー）を押して数値を入力します。
- ［OK］を押して次の画面に進むか、入力した内容を確定します。
- ［戻る］を押して前の画面に戻ります。
- ⓒ（クリア）を押してすべての入力を削除します。

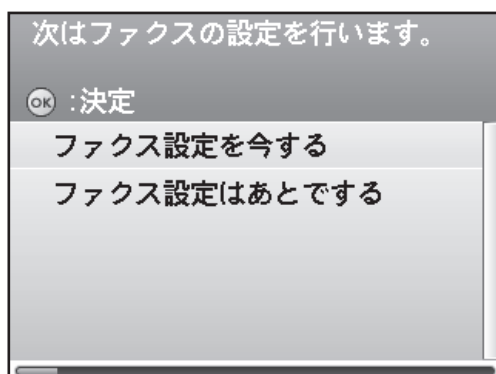
1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

日付/時刻の設定

OK :次の画面へ

次は、現在時刻の設定を行います。テンキーを使って現在の日付と時刻(24時間表示)を入力してください。

2 ⓪－⑨（テンキー）を使って日付（年／月／日）と時刻（24 時間表示）を入力し、［OK］を押します。

年は西暦の 4 桁を入力します。
月日、時刻は 0 を含む 4 桁の数字を入力します。
時刻の表示形式は 24 時間制です。
例：
5 月 6 日→ 0506
7 時 5 分→ 0705
23 時 18 分→ 2318

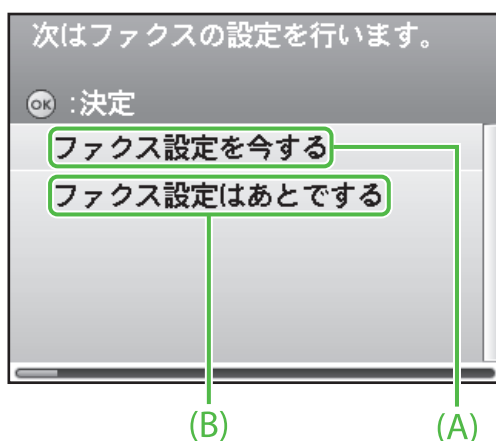
3 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

「ファクスを設定する」（→ P.20）に進んでください。

メモ

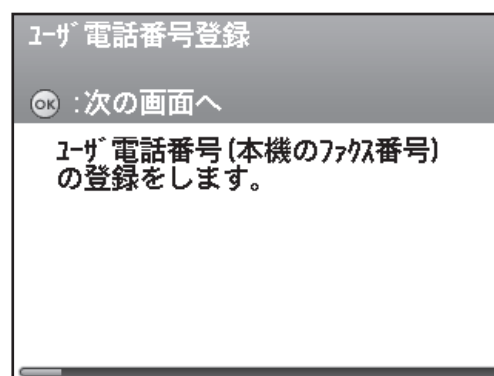
次の設定ではファクスの設定をします。ファクスの設定をしない場合は、<ファクス設定はあとでする>を選択し「「自動階調補正」で補正する」（→ P.30）に進んでください。

ファクスを設定する

「設置ナビ」に従ってファクスを設定します。

1 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って<ファクス設定を今する>または<ファクス設定はあとでする>を選択します。

A: ファクス機能を使用する場合は、<ファクス設定を今する>を選択し、［OK］を押してください。

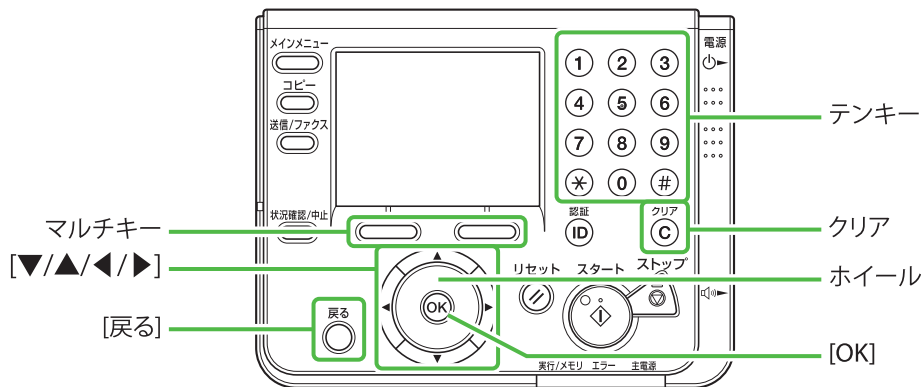
B: ファクス機能を使用しない場合は、<ファクス設定はあとでする>を選択し、［OK］を押してください。
（→「「自動階調補正」で補正する」: P.30）

2 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

「発信元のファクス番号と略称を登録する」（→ P.21）に進んでください。

発信元のファクス番号と略称を登録する

ユーザ電話番号とユーザ略称の登録を行います。文字入力の方法については、下記の「文字の入力方法」を参照してください。

文字の入力方法

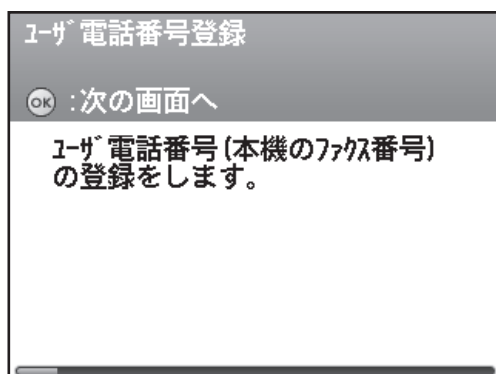
次のボタンを使用して本体に情報を入力します。

- ⓪－⑨（テンキー）を使い数字を入力します。
- マルチキーを押して入力した内容を確定、または削除します。
- ［▼］［▲］［◀］［▶］を使ってカーソルを動かします。
- ◎（ホイール）を回してカーソルを動かします。
- ［OK］を押してカーソル上の文字を入力するか、文字の変換を確定、または入力モードを変更します。
- ［戻る］を押して前の画面に戻ります。
- ⓒ（クリア）を押してすべての入力を削除します。

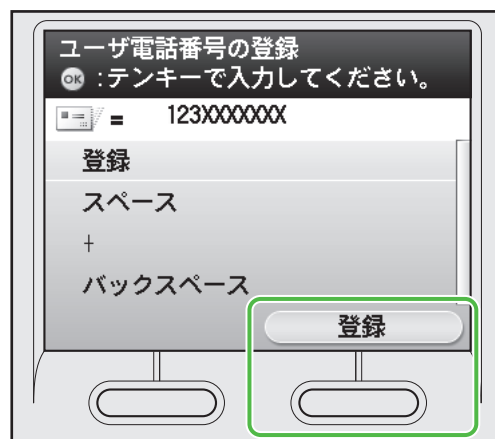
各入力モードで、以下の文字を入力できます。

メモ

文字を入力するときには以下のように操作してください。

- カーソルを動かすには、[▼][▲][◀][▶]または◎（ホイール）を使います。
- カーソル上の文字を入力するときは［OK］を押します。
- 入力モードを変えるときは、＜かな＞、＜カナ＞、＜英数＞、＜記号＞または＜コード＞にカーソルをあわせて、[OK]を押します。
- かな入力後にマルチキー（右）を押して＜変換＞を選択すると、変換候補が表示されます。[▼][▲]または◎（ホイール）を使って変換候補を選択し、[OK]を押して確定します。変換する文字の範囲を変えるには、[◀][▶]を押します。変換せずに確定するときは、＜無変換＞を選択します。変換候補画面から戻るには、[戻る]を押すか＜キャンセル＞を選択します。
- ＜カナ＞、＜英数＞、または＜記号＞を入力する場合は、＜全角＞または＜半角＞にカーソルをあわせて[OK]を押すことで、全角入力と半角入力の切り替えができます。
- 数字は⓪-⑨（テンキー）でも入力できます。
- 入力した文字を削除するときは、マルチキー（左）を押して、＜バックスペース＞を選択します。
- 入力した内容を消去し、はじめから入力しなおす場合にはⓒ（クリア）キーを押します。
- 入力を完了して前の表示に戻るには、マルチキー（右）を押して、＜確定＞を選択します。

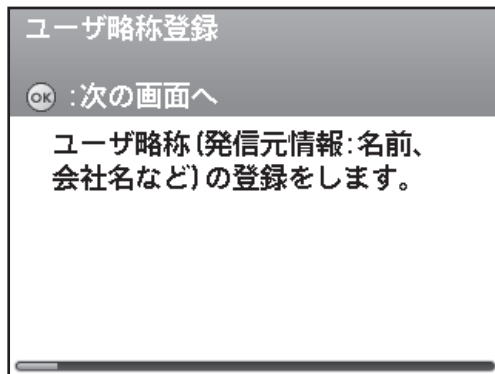
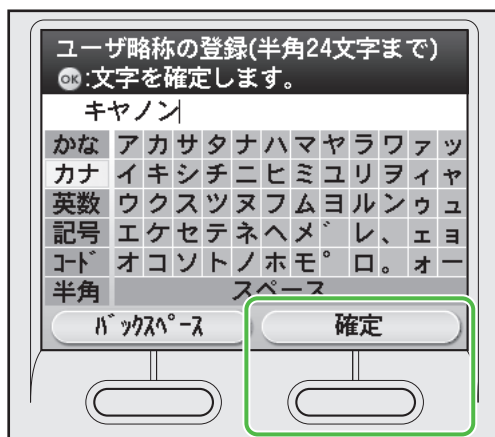
1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK]を押して「設置ナビ」を進めます。

2 送信した相手の記録紙に印字されるファクス番号（ユーザ電話番号・最大 20 桁）を⓪ – ⑨（テンキー）を使って入力します。

マルチキー（右）を押して＜登録＞を選択して確定するか、[▼]、[▲]または◎（ホイール）を使って＜登録＞を選択し、[OK]を押して確定してください。（→文字の入力方法：P.21）

以下のキーは、[▼]、[▲]または◎（ホイール）で選択することで、使用できます。

＜スペース＞：　スペースを入れます。
＜＋＞：　[+]をつけます。
＜バックスペース＞：最後に入力した数字を削除します。

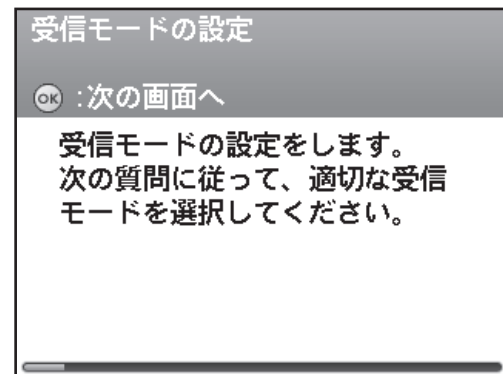
 メモ

すべての入力した数字を削除する場合はⓒ（クリア）を押してください。

3 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

4 送信した相手の記録紙に印字される発信元情報（ユーザ略称・最大 24 文字）（名前、会社名、など）を登録します。［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って文字を選択し、［OK］を押します。マルチキー（右）を押して<確定>を選択して確定します。（→文字の入力方法：P.21）

 メモ

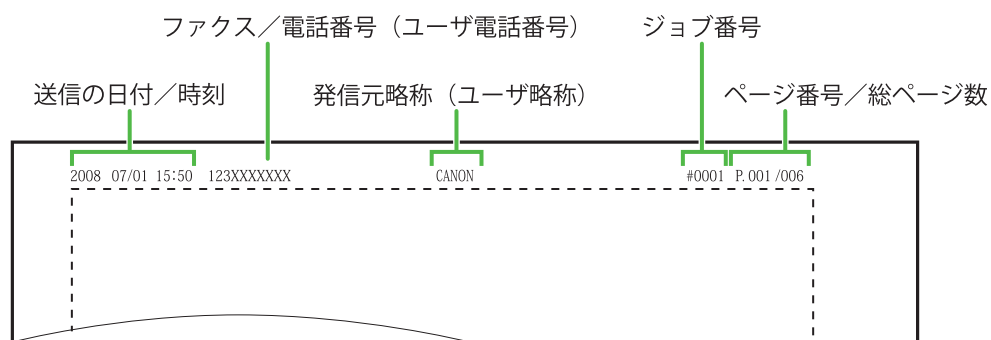
- ユーザ略称は 1 つだけ登録できます。
- 入力を間違えたときは、マルチキー（左）を押して、<バックスペース>を選択します。
- すべての入力した文字を削除する場合は、©（クリア）を押してください。

5 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

受信モードの設定
:次の画面へ
受信モードの設定をします。
次の質問に従って、適切な受信モードを選択してください。

メモ

次は、受信モードの設定を行います。

発信元の情報

ファクスを送信する前に必ず、ファクス番号（ユーザ電話番号）、発信元略称（ユーザ略称）、現在の日付／時刻を登録します。登録した発信元の情報は、ファクスを送信したときに、発信元記録として相手先の記録紙に印字されます。

受信モードを選択する

受信モードの説明

＜自動受信＞

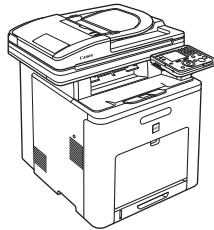
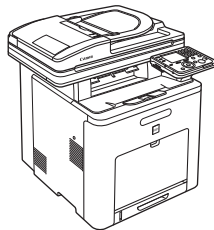
ファクスを自動で受信します。外付け電話機を接続しないでファクス機能のみを使用する場合にこのモードを選択します。

●ファクス受信時

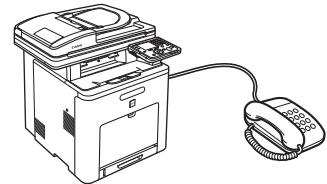
ファクスを自動で受信します。

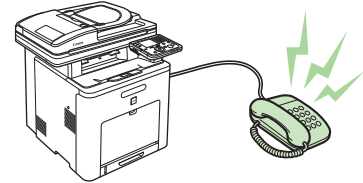
●電話受信時

応答しません。

＜FAX/TEL 切替＞

ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスの場合は自動で受信し、電話の場合は外付け電話から着信音が鳴ります。

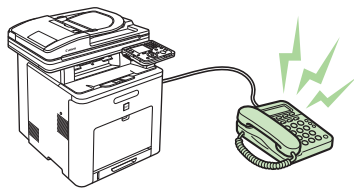
●ファクス受信時

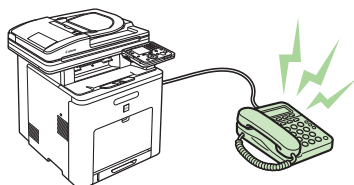
ファクスを自動で受信します。

●電話受信時

外付け電話機が鳴ります。
電話に応答してください。

＜留守 TEL 接続＞

ファクスを自動で受信します。電話を留守番電話機で受信します。

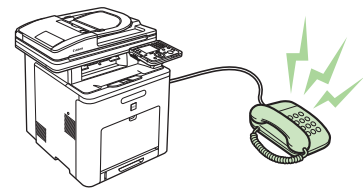
●ファクス受信時

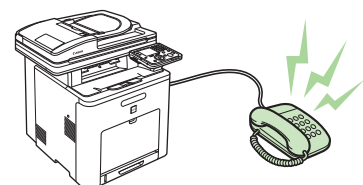
留守番電話機の着信音が鳴りファクスを自動で受信します。

●電話受信時

留守番電話機の着信音が鳴りメッセージを録音します。

＜手動受信＞

ファクスと電話すべての受信時に着信音が鳴ります。ファクスを手動で受信します。

●ファクス受信時

外付け電話機が鳴ります。
受話器を取って、＜送信／ファクス＞→＜ファクス（新規）＞→＜受信スタート＞を選択してファクス受信します。または、外付け電話機の受話器を取り、リモート受信機能を使ってファクス受信します。

●電話受信時

外付け電話機が鳴ります。
電話に応答してください。

ファクスや電話をどのように受信するかを受信モードで設定します。以下に従って、適切な受信モードを選択してください。（→受信モードの説明：P.25）

受信モードの設定
OK :次の画面へ
受信モードの設定をします。
次の質問に従って、適切な受信モードを選択してください。

1 ディスプレイに左の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

2 ディスプレイ上の質問に［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って<はい>または<いいえ>を選択し、[OK] を押します。

電話機は接続せずに、本機をファクス専用で使用しますか?
OK :決定
はい
いいえ

はい →

受信モードの設定
OK :次の画面へ
ﾌｧｸｽの受信ﾓｰﾄﾞは
受信ﾓｰﾄﾞ：「自動受信」
(ﾌｧｸｽは自動受信します。
電話は使用しません)
に設定されました。*再設定するには【戻る】ｷｰで前画面へ。

「電話回線を接続する」（→ P.28）に進んでください。

↓いいえ

はい →

受信モードの設定
OK :次の画面へ
ﾌｧｸｽの受信ﾓｰﾄﾞは
受信ﾓｰﾄﾞ：「FAX/TEL切替」
(ﾌｧｸｽは自動受信、電話は
受話器を取って応答)
に設定されました。*再設定するには【戻る】ｷｰで前画面へ。

「電話回線を接続する」（→ P.28）に進んでください。

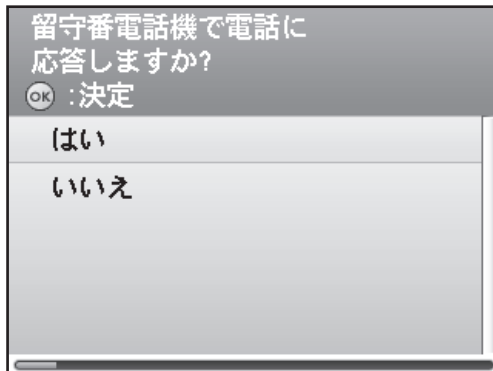
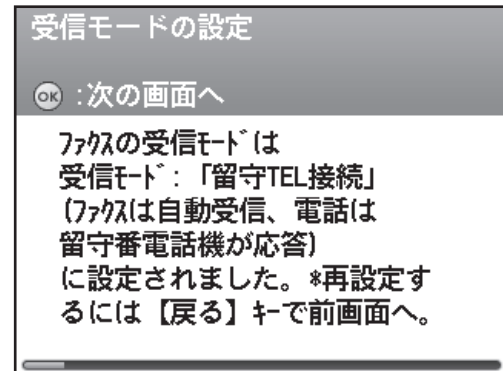
↓いいえ

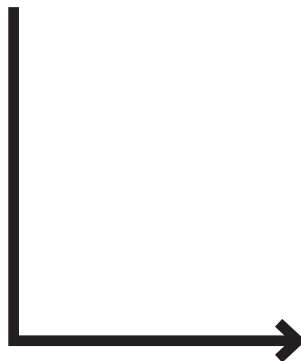
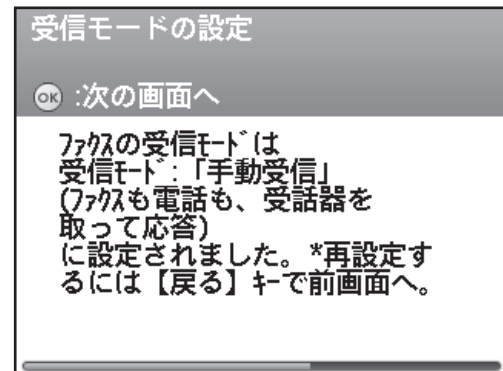
次ページへ

前ページから

いいえ

はい

受信モードの設定
:次の画面へ
ファクスの受信モードは
受信モード:「留守TEL接続」
(ファクスは自動受信、電話は
留守番電話機が応答)
に設定されました。*再設定す
るには【戻る】キーで前画面へ。

この画面のあとに、留守番電話機の留守番電話機能が使用可能な状態かどうか確認する画面が表示されます。使用可能かどうか確認できたら、**「電話回線を接続する」(→ P.28)に進んでください。**

受信モードの設定
:次の画面へ
ファクスの受信モードは
受信モード:「手動受信」
(ファクスも電話も、受話器を
取って応答)
に設定されました。*再設定す
るには【戻る】キーで前画面へ。

この受信モード(＜手動受信＞)では、本体に外付け電話機を接続して、リモート受信機能を使用することができます。**「電話回線を接続する」(→ P.28)に進んでください。**

メモ

- リモート受信機能は、受信モードが＜手動受信＞で外付け電話機が接続されている場合に便利です。外付け電話機の受話器を取って 2 桁のリモート受信 ID(初期値:25)を入力することで、ファクスを受信できます。
- ＜留守 TEL 接続＞の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。(→電話回線を接続する:P.28)
- ＜ FAX/TEL 切替＞または＜手動受信＞の場合は、外付け電話機を本製品に接続してください。(→電話回線を接続する:P.28)
- ＜ FAX/TEL 切替＞の場合、接続する外付け電話機の種類によっては、発信や着信が正常に動作しないことがあります。
- 初期設定では、＜受信モード選択＞が＜自動受信＞に設定されています。本体に外付け電話機が接続されていて、ファクスや電話を受信すると、外付け電話機が鳴ります。外付け電話機が鳴っている間は電話に出ることができます。着信音を鳴らさないようにするには、(メインメニュー)→＜初期設定／登録＞→＜送信／受信仕様設定＞→＜ファクス設定＞→＜受信機能設定＞→＜着信呼出＞を＜ OFF ＞にしてください。

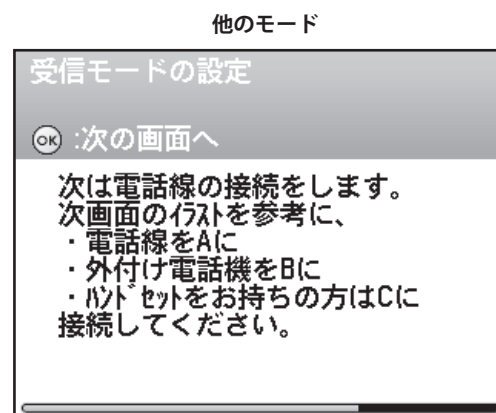
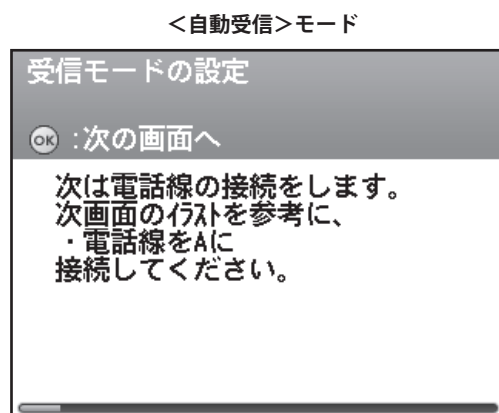
電話回線を接続する

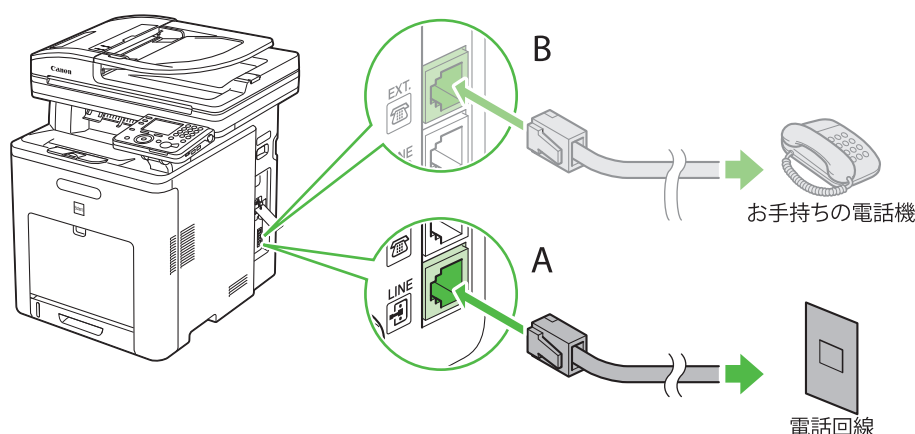
1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

＜自動受信＞モード

受信モードの設定
OK :次の画面へ
次は電話線の接続をします。
次画面のｲﾗｽﾄを参考に、
・電話線をAに
接続してください。

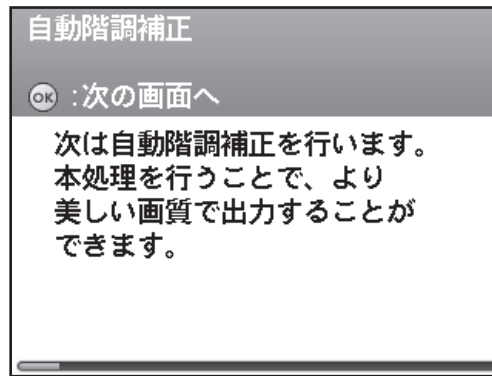
他のモード

受信モードの設定
OK :次の画面へ
次は電話線の接続をします。
次画面のｲﾗｽﾄを参考に、
・電話線をAに
・外付け電話機をBに
・ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄをお持ちの方はCに
接続してください。

2 本体右側面にあるジャックを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

3 付属の電話線コードを本体の裏側にある電話回線端子（A）に接続し、もう片方の端を壁側の電話回線コネクタに接続します。市販の電話機や留守番電話機を接続する場合は、その電話機の電話線コードを本体の裏側にある外部機器端子（B）に接続します。

メモ
受信モードが＜自動受信＞の場合は、電話回線端子（A）と電話回線コネクタに接続するケーブルのみ表示されます。

4 [OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

5 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

自動階調補正
OK ：次の画面へ
次は自動階調補正を行います。
本処理を行うことで、より
美しい画質で出力することが
できます。

電話回線の種類を手動で設定する

ファクスを送信するには、電話回線の種類（ダイヤル回線／プッシュ回線）を正しく設定する必要があります。工場出荷時には自動的に判別するように設定されていますので、通常は特別な設定は必要ありませんが、次のような場合は、下記の手順で＜手動＞を選択し、電話回線の種類を設定する必要があります。

- 構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している。
  これらの場合は、電話回線の種類が自動では正しく判別されません。
- ファクスが送信できない。
  電話回線の種類の自動判別が正しく行われていない可能性があります。

メモ
- お使いの電話回線の種類がわからない場合は、ご契約の電話会社にお問い合わせください。
- 以下の操作は、設置ナビを終了してから行ってください。

1 （メインメニュー）を押します。

2 マルチキー（右）を押して＜初期設定／登録＞を選択します。

3 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って＜送信／受信仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って＜ファクス設定＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って＜基本登録＞を選択し、［OK］を押します。

6 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って＜回線種類の選択＞を選択し、［OK］を押します。

7 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って＜手動＞を選択し、［OK］を押します。

8 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って回線種類の選択を選択し、［OK］を押します。
＜ダイヤル 20PPS ＞：お使いの回線が 20PPS のダイヤル回線の場合に選択します。
＜ダイヤル 10PPS ＞：お使いの回線が 10PPS のダイヤル回線の場合に選択します。
＜プッシュ＞：お使いの電話がプッシュ回線の場合に選択します。

9 （メインメニュー）を押してメインメニュー画面に戻ります。

「自動階調補正」で補正する

本製品を初めて使用する場合、最適なコピー結果やプリント結果を得るために、自動階調補正を行う必要があります。
自動階調補正にはフル補正とクイック補正の 2 種類の補正があります。

● フル補正

テストプリントを出力してフィーダーにセットするだけで、画像の階調、濃度および色味を自動的に補正します。クイック補正よりも精密に補正されます。

- 正しく階調補正できなくなるため、色のついた紙や、OHP 用紙、ラベルシートなど特殊な紙を使用しないでください。フル補正を行う場合は白の普通紙を使用することをおすすめします。
- テストプリントは正しくセットしてください。テストプリントが正しく読み込まれないと、階調、濃度および色味の補正が正常に行われません。
- テストプリントには、A4 または LTR の用紙が 2 枚必要です。

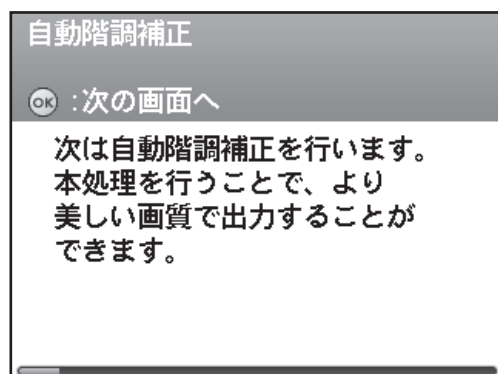
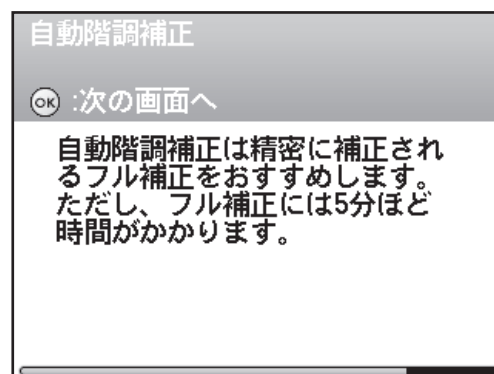
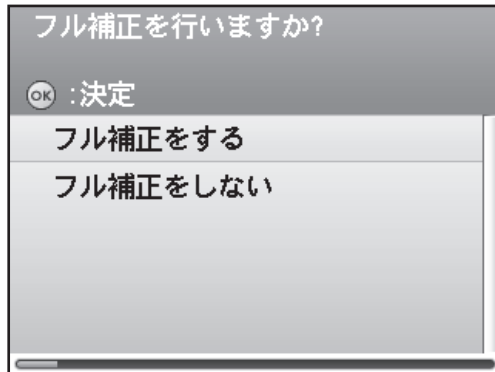
● クイック補正

画像の階調、濃度および色味を簡易に補正します。内部的に補正するため、テストプリントを出力しません。

自動階調補正をする場合は、フル補正をお使いになることをおすすめします。クイック補正は、次回フル補正をするまでの簡易補正としてお使いください。

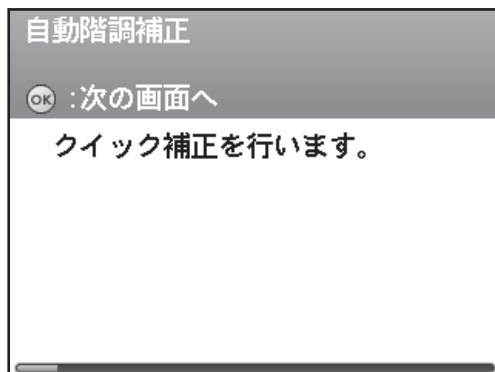
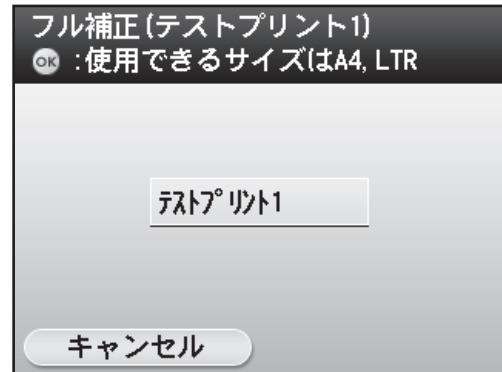
1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

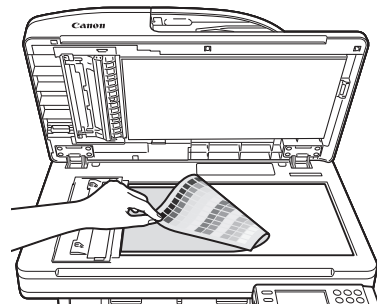
自動階調補正
OK :次の画面へ
次は自動階調補正を行います。本処理を行うことで、より美しい画質で出力することができます。

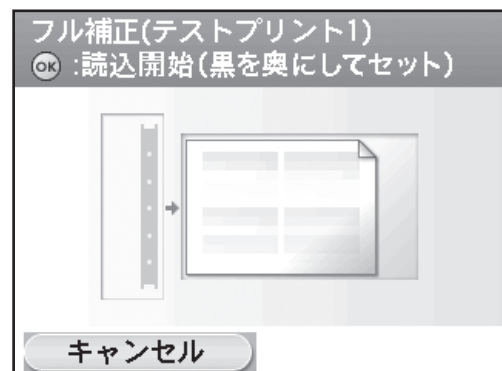
2 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

自動階調補正
OK :次の画面へ
自動階調補正は精密に補正されるフル補正をおすすめします。ただし、フル補正には5分ほど時間がかかります。

3 ［▼］、［▲］または◎（ホイール）を使って<フル補正をする>または<フル補正をしない>を選択し、［OK］を押します。

- 自動階調補正をする場合は、フル補正することをおすすめします。
- フル補正には 5 分ほどかかります。
- フル補正はテストプリントを 2 枚出力し、読み込みを 2 回行います。

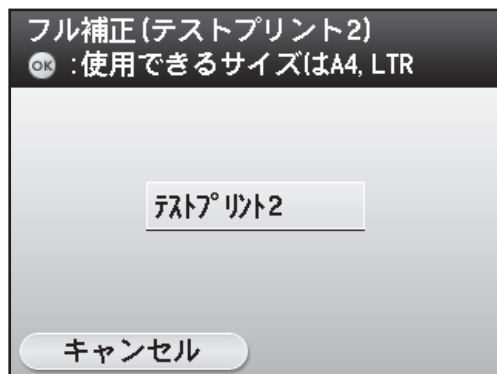
こんなときは ...

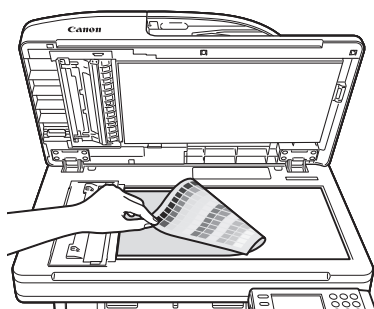
● **<フル補正をしない>（＝クイック補正）を選んだら**

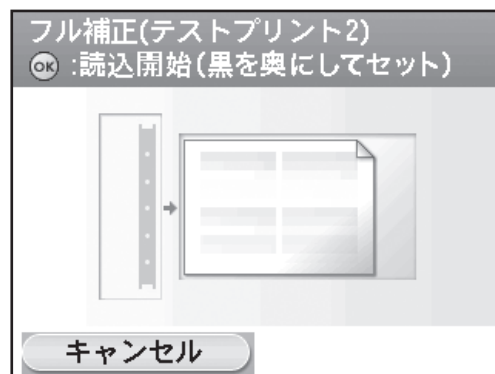
ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押してクイック補正を行ってください。（クイック補正には 2 分半ほどかかります。）クイック補正終了後は「ネットワーク接続を設定する」（→ P.33）に進んでください。

4 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して 1 枚目テストプリントを出力します。

エラーメッセージが表示されたら：
本製品の<用紙設定>の<用紙種類>を<色紙>に設定している場合は、エラーメッセージが表示されます。
<閉じる>を押して手順 3 の画面に戻ってから、手差しトレイに A4 または LTR の用紙をセットし、<用紙サイズ>、<用紙種類>を設定した後、再度<フル補正をする>を選択してください。

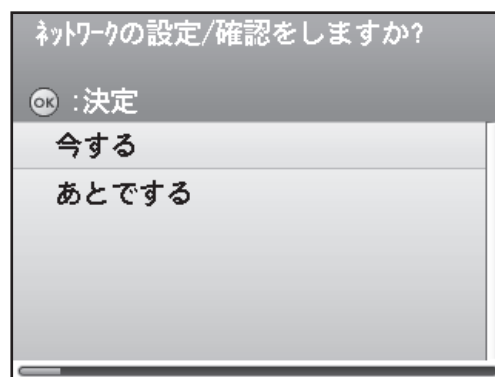
5 出力された 1 枚目のテストプリントを原稿台ガラスにセットします。

黒の帯のある方を奥にして原稿台ガラスにふせてセットします。
より正しい階調補正を行う為に、ふせたテストプリントの上に白紙 20 枚ぐらい重ねて置いてください。

6 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

7 1 枚目のテストプリントを原稿台ガラスから取り除きます。

8 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して 2 枚目テストプリントを出力します。

エラーメッセージが表示されたら：
本製品の<用紙設定>の<用紙種類>を<色紙>に設定している場合は、エラーメッセージが表示されます。
<閉じる>を押して手順 3 の画面に戻ってから、手差しトレイに A4 または LTR の用紙をセットし、<用紙サイズ>、<用紙種類>を設定した後、再度<フル補正をする>を選択してください。

9 出力された 2 枚目のテストプリントを原稿台ガラスにセットします。

黒の帯のある方を奥にして原稿台ガラスにふせてセットします。
より正しい階調補正を行う為に、ふせたテストプリントの上に白紙 20 枚ぐらい重ねて置いてください。

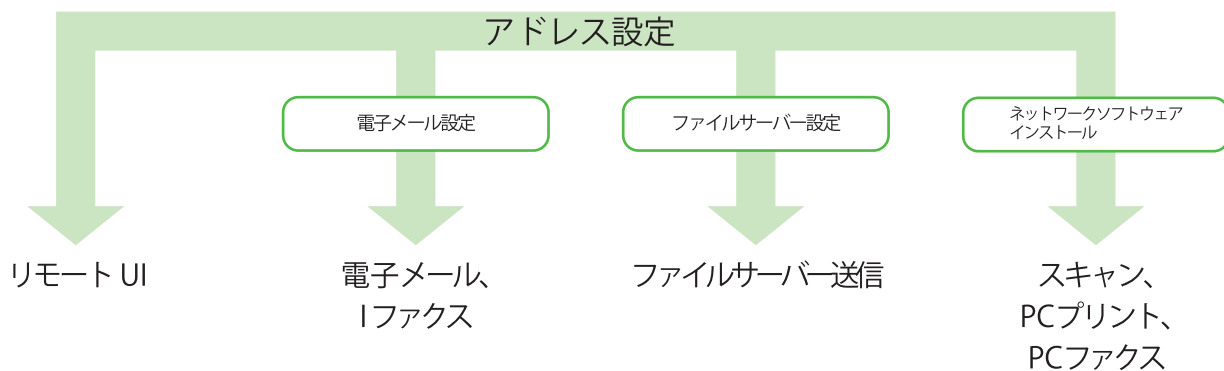
10 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

11 2 枚目のテストプリントを原稿台ガラスから取り除きます。

12 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

メモ
次の設定ではネットワークの設定をします。設定をしない場合は、<あとでする>を選択し**「「設置ナビ」を終了する」（→ P.36）に進んでください。**

ネットワーク接続を設定する

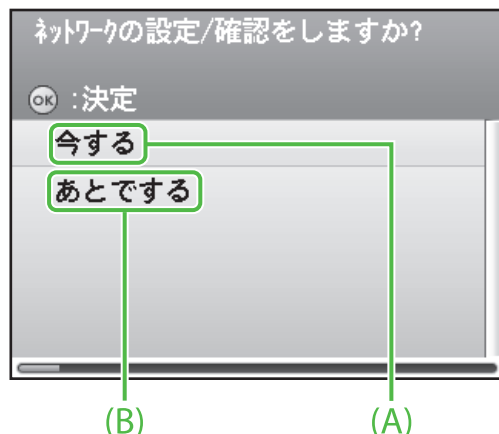
本製品をネットワークに接続して使用するためには IP アドレスなどの設定が必要です。IP アドレスはインターネット・プロトコル・アドレスの省略です。これはインターネットのネットワークに接続するため個々のコンピュータに振り分けられた認証番号です。
IP アドレスの設定をすると、以下の機能を使用することができます。

- リモート UI:　リモート UI ソフトウェアを使って、ウェブブラウザから本製品へのアクセスと管理ができます。
- 電子メール :　読み込んだ文書を電子メールに添付して、本製品から送信
- ファイルサーバー送信 :　読み込んだ文書を本製品からファイルサーバーに送信
- I ファクス :　読み込んだ文書を本製品から I ファクス対応機に送信
- PC プリント :　コンピュータの文書を本製品からプリント
- PC ファクス :　コンピュータの文書を本製品からファクス
- Color Network ScanGear でスキャン（CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM に付属のアプリケーション）:
  読み込んだ原稿をコンピュータに取り込み保存

以下の図はそれぞれの機能を使うのに必要な設定項目を表しています。

メモ
IEEE802.1X が導入されているネットワークに本製品を接続する場合は、IEEE802.1X の設定も行う必要があります。（→ e-マニュアル「ネットワーク設定」）

メモ

- 「設置ナビ」は IPv4 のみサポートしています。
- IP アドレスは DHCP サーバーによって、自動的に取得されるように初期設定されています。

1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。［▼］、［▲］または ◎（ホイール）を使って<今する>または<あとでする>を選択します。

A: 本製品をネットワークに接続して使用する場合は<今する>を選択して［OK］を押してください。

B: 本製品をネットワークに接続しないで使用する場合は<あとでする>を選択して［OK］を押してください。（→ **「「設置ナビ」を終了する」: P.36**）

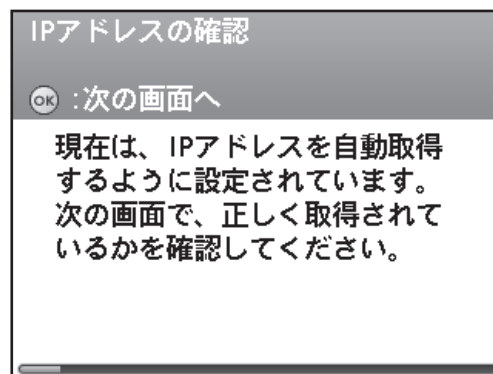
メモ

「設置ナビ」では IPv6 の設定はできません。IPv6 の設定をする場合は<あとでする>を選択し、「設置ナビ」の終了後に設定を行ってください。（→ e- マニュアル「ネットワーク設定」）

2 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

IPアドレスの確認

:次の画面へ

現在は、IPアドレスを自動取得するように設定されています。
次の画面で、正しく取得されているかを確認してください。

メモ

- 本製品にネットワークケーブルが接続されていない場合は、この画面の前にネットワークケーブルを接続することを説明する画面が表示されます。
- 本製品をネットワークに接続してから 3 分待っても IP アドレスの取得ができない場合は、IP アドレスの設定確認とネットワークケーブルの接続確認を行ってください。

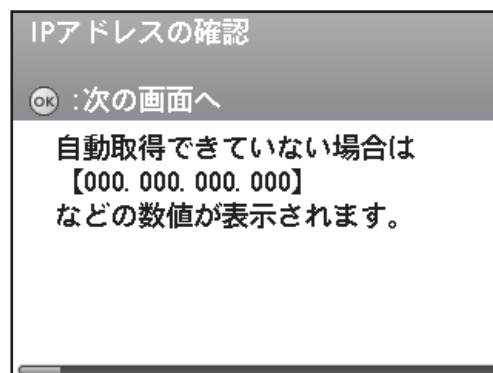
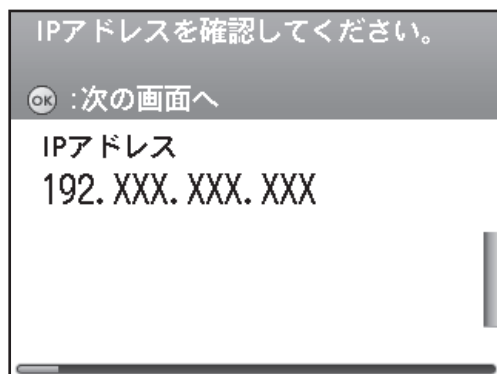
3 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

IPアドレスの確認

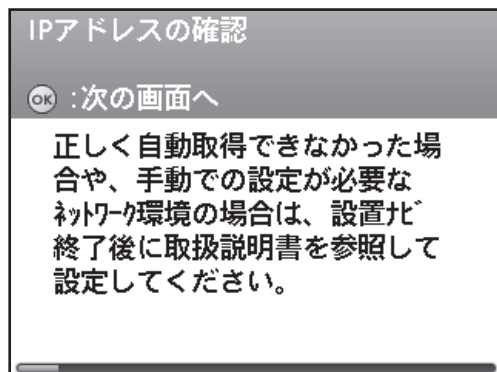
:次の画面へ

自動取得できていない場合は
【000. 000. 000. 000】
などの数値が表示されます。

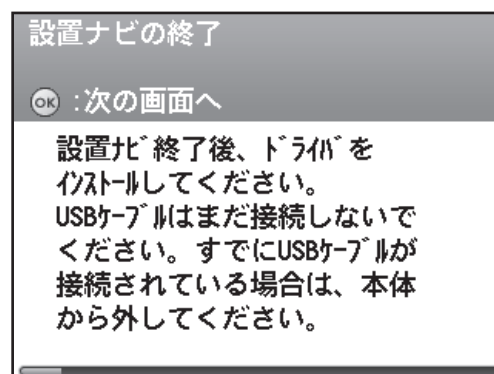
4 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

IPアドレスを確認してください。
OK :次の画面へ
IPアドレス
192.XXX.XXX.XXX

メモ
本製品が自動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを取得できなかった場合は、それぞれの画面で “000.000.000.000” などの数値が表示されます。

5 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、[OK] を押して「設置ナビ」を進めます。

IPアドレスの確認
OK :次の画面へ
正しく自動取得できなかった場合や、手動での設定が必要なﾈｯﾄﾜｰｸ環境の場合は、設置ﾅﾋﾞ終了後に取扱説明書を参照して設定してください。

メモ
IP アドレス設定の詳細については、e- マニュアル「ネットワーク設定」を参照してください。

6 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認します。

設置ナビの終了
OK :次の画面へ
設置ﾅﾋﾞ終了後、ﾄﾞﾗｲﾊﾞを
ｲﾝｽﾄｰﾙしてください。
USBｹｰﾌﾞﾙはまだ接続しないでください。すでにUSBｹｰﾌﾞﾙが接続されている場合は、本体から外してください。

「「設置ナビ」を終了する」(→ P.36)に進んでください。

メモ
未設定の項目がある場合は、この画面の前に未設定の項目を表記した画面が表示されます。

IP アドレスの手動設定

これは固定 IP アドレスの設定です。IP アドレスを手動で入力する必要がある場合や、IP アドレスが自動的に取得されても手動での設定が必要な場合は以下の手順に従って設定を行います。IP アドレスの手動設定は設置ナビの終了後に初期設定／登録から設定します。

この設定では、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを手動で設定します。

（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜システム管理設定＞＊→＜ネットワーク設定＞→＜閉じる＞→＜ TCP ／ IP 設定＞→＜ IPv4 設定＞→＜ IP アドレス設定＞→＜手動設定＞→ IP アドレスを入力→サブネットマスクを入力→ゲートウェイアドレスを入力→（メインメニュー）→本体の電源を切る→本体の電源を入れる

＊ システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号の入力画面が表示された場合は、⓪～⑨（テンキー）を使ってシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力したあと、ⓘⓓ（認証）を押します。

この設定の詳細については、e- マニュアル「ネットワーク設定」を参照してください。

システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号について

システム管理部門IDとシステム管理暗証番号は、工場出荷時には以下のように設定されています。

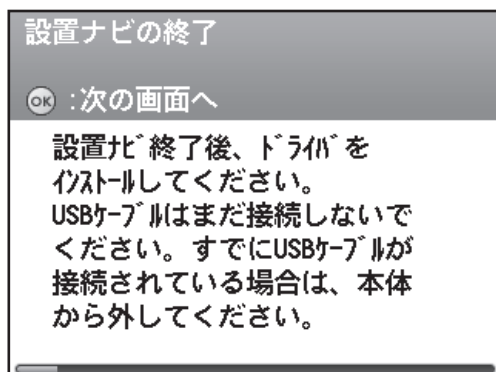
システム管理部門 ID：7654321
システム管理暗証番号：7654321

ID と暗証番号の詳細については、e-Manual「セキュリティ」を参照してください。

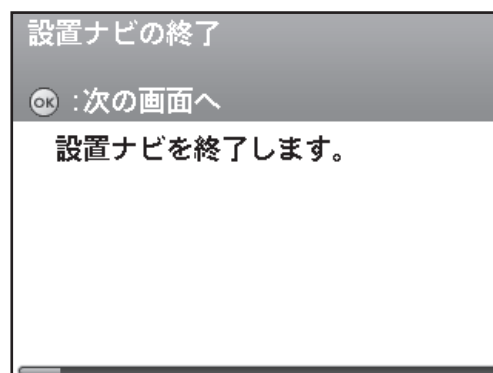
「設置ナビ」を終了する

これで「設置ナビ」での設定がすべて完了しました。
「設置ナビ」の終了後は、コンピュータでのソフトウェア設定が必要です。

1 ディスプレイに以下の画面が表示されていることを確認し、［OK］を押して「設置ナビ」を進めます。

設置ナビの終了
OK :次の画面へ
設置ﾅﾋﾞ終了後、ﾄﾞﾗｲﾊﾞを
ｲﾝｽﾄｰﾙしてください。
USBｹｰﾌﾞﾙはまだ接続しないで
ください。すでにUSBｹｰﾌﾞﾙが
接続されている場合は、本体
から外してください。

メモ
USB ケーブルが本製品に接続されていないことを確認してください。すでに接続されている場合は取り外してください。

2 ［OK］を押して「設置ナビ」を終了します。

設置ナビの終了
OK :次の画面へ
設置ナビを終了します。

設定した項目の変更

「設置ナビ」終了後に設定を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

● 用紙サイズ／種類：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜用紙設定＞→設定するカセットを選択→用紙サイズを選択→用紙の種類を選択→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「本機の紹介」）

● 日付／時刻：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜タイマー設定＞→＜日付／時刻の設定＞→＜現在時刻の設定＞→日付／時刻を入力→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「本機の紹介」）

● 電話番号登録：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜送信／受信仕様設定＞→＜ファクス設定＞→＜基本登録＞→＜ユーザ電話番号の登録＞→電話番号を入力し＜登録＞→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「ファクスを使う」）

● ユーザ略称登録：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜送信／受信仕様設定＞→＜共通設定＞→＜送信機能設定＞→＜ユーザ略称登録＞→ユーザ略称を入力し＜確定＞→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「ファクスを使う」）

● 受信モード：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜送信／受信仕様設定＞→＜ファクス設定＞→＜受信機能設定＞→＜受信モード選択＞→受信モードを選択→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「ファクスを使う」）

● 電話回線種別：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜送信／受信仕様設定＞→＜ファクス設定＞→＜基本登録＞→＜回線種類の選択＞→＜自動＞ *1 ／（＜手動＞→回線種類を選択）→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「ファクスを使う」）

● 自動階調補正：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜調整／クリーニング＞→＜自動階調補正＞→補正の種類を選択→補正を実行→（メインメニュー）（→ e- マニュアル「メンテナンス」）

● ネットワーク（自動）：
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜システム管理設定＞ *2 →＜ネットワーク設定＞→＜閉じる＞→＜ TCP ／ IP 設定＞→ <IPv4 設定 > →＜ IP アドレス設定＞→＜自動設定＞→＜ DHCP ＞→ IP アドレスを入力→サブネットマスクを入力→ゲートウェイアドレスを入力→（メインメニュー）→本体の電源を切る→本体の電源を入れる（→ e- マニュアル「ネットワーク設定」）

● ネットワーク（手動）：
（→ IP アドレスの手動設定：P.36）

● 設置ナビの再起動
（メインメニュー）→＜初期設定／登録＞→＜システム管理設定＞ *2 →＜設置ナビの起動＞→＜はい＞（→ e- マニュアル「本機の紹介」）

*1　＜自動＞を選択した場合は、本製品を再起動してください。設定は本製品の主電源スイッチを入れなおしたあと有効になります。
*2　システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号の入力画面が表示された場合は、⓪～⑨（テンキー）を使ってシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力したあと、ID（認証）を押します。

コンピュータと本製品の接続方法

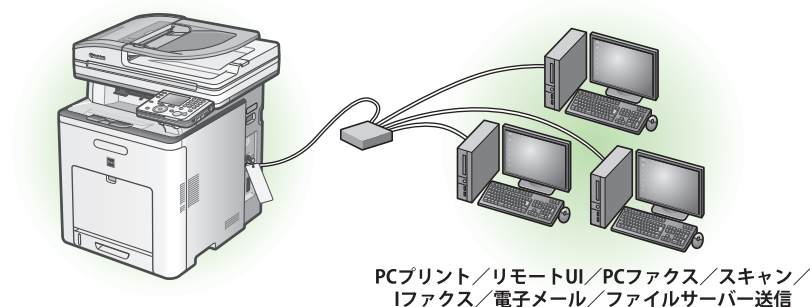
コンピュータと本体を接続するにはネットワーク接続と USB 接続の 2 種類の接続があります。

ネットワーク接続（ソフトウェアのインストール方法の詳細は、P.41 を参照してください。）

ネットワーク接続では次の機能を使用することができます：PC プリント、リモート UI、PC ファクス、文書のスキャン、I ファクス送信 / 電子メール送信、ファイルサーバー送信

ネットワーク接続で使用できる機能の詳細については以下のガイドを参照してください。

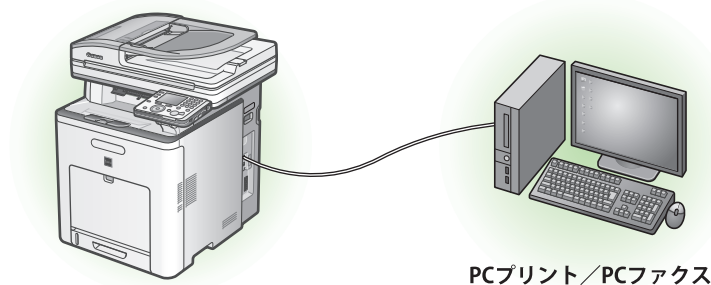
PC プリント → e- マニュアル「プリントする」
リモート UI → e- マニュアル「パソコンからの設定」
PC ファクス → e- マニュアル「ファクスを使う」
スキャン → e- マニュアル「スキャンする」
I ファクス / 電子メール → e- マニュアル「メール機能」／「ファクスを使う」
ファイルサーバー送信 → e- マニュアル「ネットワーク設定」

PCプリント／リモートUI／PCファクス／スキャン／
Iファクス／電子メール／ファイルサーバー送信

USB 接続（ソフトウェアのインストール方法の詳細は、P.47 を参照してください。）

USB 接続では次の機能を使用することができます：PC プリント、PC ファクス

USB 接続で使用できる機能の詳細については以下のガイドを参照してください。

PC プリント → e- マニュアル「プリントする」
PC ファクス → e- マニュアル「ファクスを使う」

PCプリント／PCファクス

 メモ

- USB 接続とネットワーク接続は併用できます。
- ソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM について

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM には以下のドライバとアプリケーションが入っています。

<ドライバ>

以下のドライバをインストールするには、「<マニュアル>」（→ P.40）の HTML マニュアルを参照してください。

CARPS2 プリンタドライバ

キヤノン CARPS2 プリンタドライバによりアプリケーションから本製品にプリントできるようになります。コンピュータの処理能力を利用してプリントするデータを圧縮することで高速データ処理できます。

ファクスドライバ

ファクスドライバは概念的にプリンタドライバに似ています。ファクスドライバにより、アプリケーションから「印刷」を選択したり、Canon ファクスドライバをプリンタとして選択したり、出力先とオプションを設定したりできるようになります。ファクスドライバによって、送信先のファクス機でプリントしたり保存したりできるように、標準のファクスプロトコルに合わせてデータが画像に変換されます。

Color Network ScanGear

ネットワーク経由でコンピュータから本製品を操作し、スキャンした画像をコンピュータに取り込むことができるようになります。

動作環境

Windows 2000
CPU：Intel® Pentium® 133 MHz 以上
メモリ：128 MB 以上

Windows XP
CPU：Intel® Pentium® II/Celeron® 300 MHz 以上
メモリ：128 MB 以上

Windows Vista
CPU：Intel® Pentium® 800 MHz 以上
メモリ：512 MB 以上

Windows 7
CPU:1 GHz (x86 プロセッサ , x64 プロセッサ) 以上
メモリ :1 GB (x86 プロセッサ), 2 GB (x64 プロセッサ) 以上

Windows Server 2003
CPU：Intel® Pentium® II/Celeron® series133 MHz 以上
メモリ：128 MB 以上

Windows Server 2008
CPU：Intel® 1 GHz（x86 プロセッサ）、1.4 GHz（x64 プロセッサ）以上
メモリ：512 MB 以上

＜付属のアプリケーション＞

以下のアプリケーションをインストールするには、「＜マニュアル＞」（→ P.40）の HTML マニュアルを参照してください。

NetSpot Device Installer (NSDI)

本製品をネットワーク操作用にセットアップすることができます。「NetSpot Device Installer」をインストールする場合は「ネットワーク接続用のインストール - インストール手順」の手順 3（→ P.41）、または「USB 接続用のインストール – インストール手順」の手順 2（→ P.47）で、［付属ソフトウェア］をクリックし、画面の指示に従ってください。詳細については、Readme ファイルおよびオンラインヘルプを参照してください。

Canon Font Gallery

TrueType フォント和文書体、かな書体、欧文書体が収められています。

> **メモ**
> Canon Font Gallery は Windows Vista/7/Server 2008 には対応していません。

＜マニュアル＞

プリンタードライバーインストールガイド

CARPS2 ドライバのインストール、更新、共有プリンタ、アンインストール、環境設定、印刷の説明をします。

CARPS2 プリンタードライバー対応機種

CARPS2 プリンタドライバが対応する機種の説明をします。

ファクスドライバーインストールガイド

ファクスドライバのインストール、更新、共有プリンタ、アンインストール、環境設定、印刷の説明をします。

ファクスドライバー対応機種

ファクスプリンタドライバが対応する機種の説明をします。

Network ScanGear インストールガイド

Color Network ScanGear のインストール、アンインストールの説明をします。

＜ Macintosh をご使用のお客様＞

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM には Macintosh 用 CARPS2 ドライバも含まれています。ドライバのインストールや使いかたについては Macintosh 用 CARPS2 プリンタドライバインストールガイドを参照してください。

ネットワーク接続用のインストール

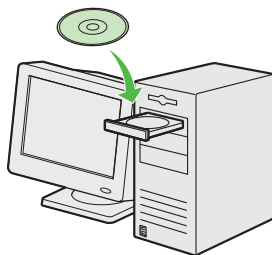
インストールする前に

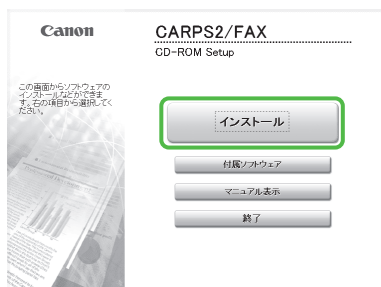
- 以下の手順は、Windows XP Professional の画面を使用して説明しています。
- 管理者モードでログオンしてください。
- 本製品にネットワークケーブルは付属していません。
- 本体の電源が入っているか確認してください。(→電源コードを接続し、電源を入れる：P.9)
- ネットワークケーブルが接続されているかどうか確認してください。(→ネットワークケーブルを接続する：P.8)
- コンピュータからスキャンする場合は、本製品とコンピュータを IPv4 ネットワーク経由で接続する必要があります。
- IP アドレスが正しく取得されているかどうか確認してください。
(→ e- マニュアル「ネットワーク設定」)
- 各手順の画面上の緑色の枠で囲まれたボタンをクリックすると、次の手順に進みます。

インストール手順

1

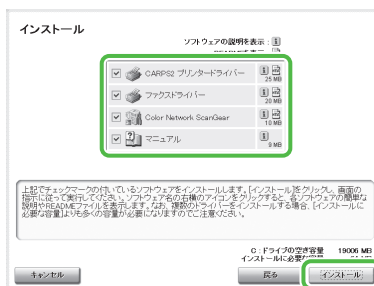
本製品がネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

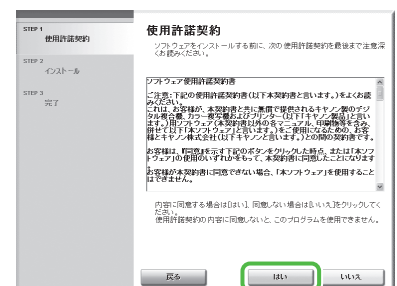
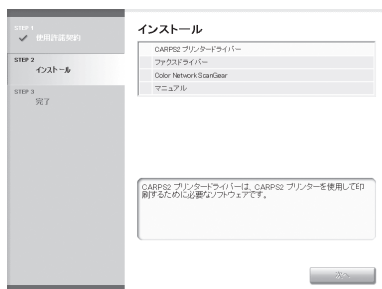
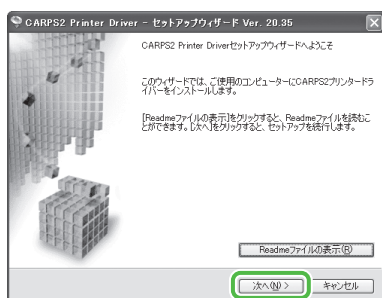
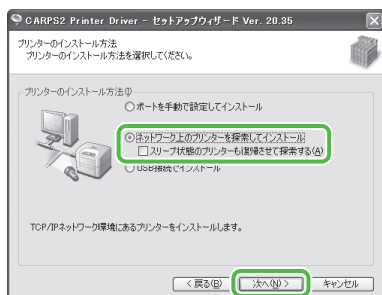
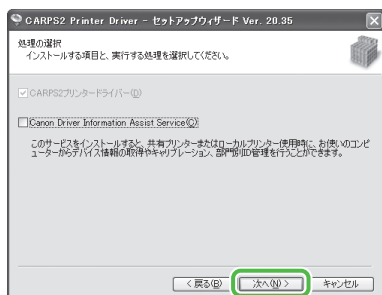
2

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM をセットします。

3

[CARPS2/FAX CD-ROM Setup] 画面が表示されない場合は、タスクバーの [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックします。
Windows 2000：デスクトップ上の [マイコンピュータ] をダブルクリックします。
Windows Vista/7/Server 2008：タスクバーの [スタート] → [コンピュータ (コンピューター)] をクリックします。
次に、CD-ROM アイコンを開き、[MInst (MInst.exe)] をダブルクリックします。

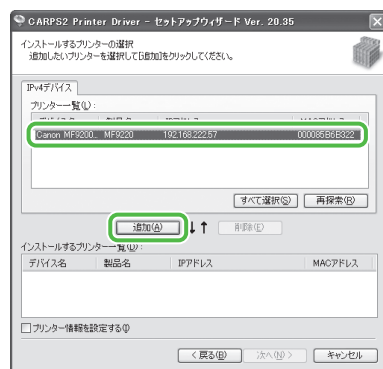
4

CARPS2 プリンタードライバー、ファクスドライバー、Color Network ScanGear、マニュアルにチェックマークが入っていることを確認します。チェックマークをはずしたソフトウェアは、インストールされません。

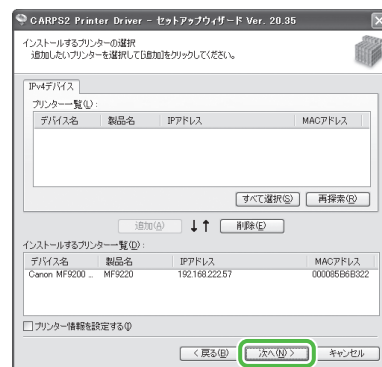
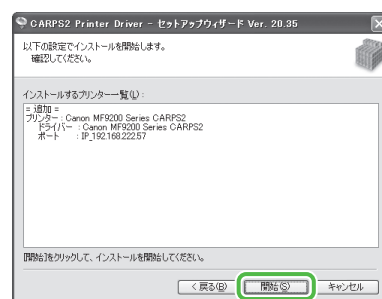
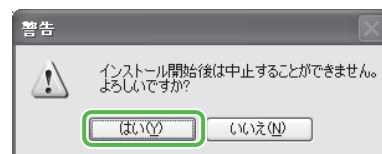
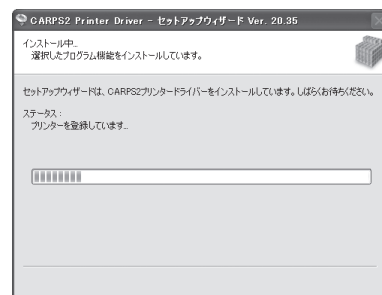
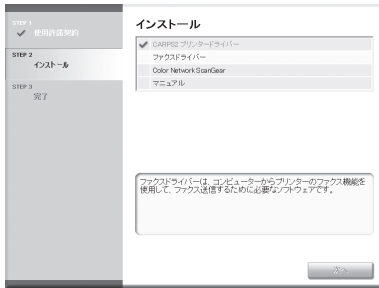
 メモ

- 次の手順は、CARPS2 プリンタドライバ、ファクスドライバ、Color Network ScanGear、マニュアルを一度にインストールする手順について説明しています。
- ディスク容量が足りないためソフトウェアをインストールできない場合は、エラーメッセージが表示されます。ディスクの空き容量を増やしてから、もう一度インストールしてください。

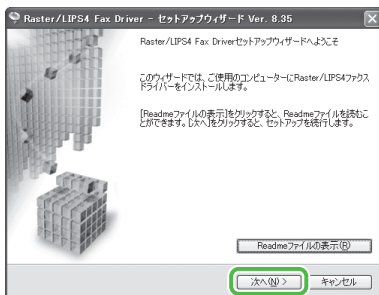
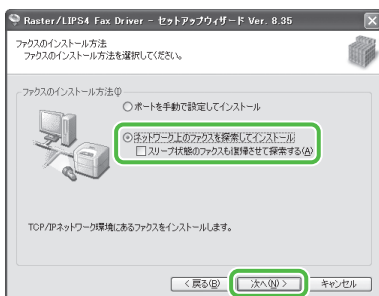
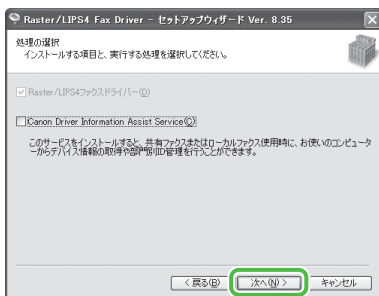
5

6

7

8

9

 メモ

- 共有プリンタ環境で使用する場合は、プリントサーバー側のコンピュータに［Canon Driver Information Assist Service］をドライバとともにインストールしてください。画質に関するプリンタの特性情報をクライアントコンピュータに正しく伝えることが可能となり、また部門管理を行えるようになります。
- コンピュータに Canon Driver Information Assist Service がインストールされている場合はこの画面は表示されません。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］をクリックします。［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

10

 メモ

この画面の［プリンター一覧］に本製品が表示されない場合は、［再探索］をクリックしてください。それでも表示されない場合は、e- マニュアル「トラブルシューティング」「ドライバインストール時に本製品が検出されない（ネットワーク接続）」を参照してください。

11

12

13

14

15

プリンタドライバのインストールが終了し、ファクスドライバのインストールが始まります。

16

17

18

メモ

- 共有プリンタ環境で使用する場合は、プリントサーバー側のコンピュータに［Canon Driver Information Assist Service］をドライバとともにインストールしてください。画質に関するプリンタの特性情報をクライアントコンピュータに正しく伝えることが可能となり、また部門管理を行えるようになります。
- コンピュータに Canon Driver Information Assist Service がインストールされている場合はこの画面は表示されません。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］をクリックします。［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

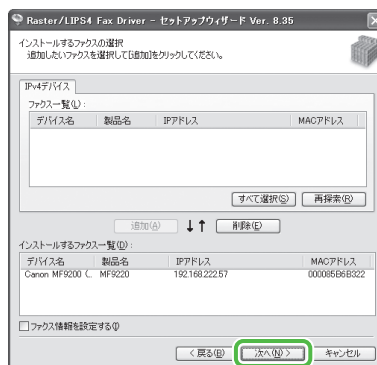
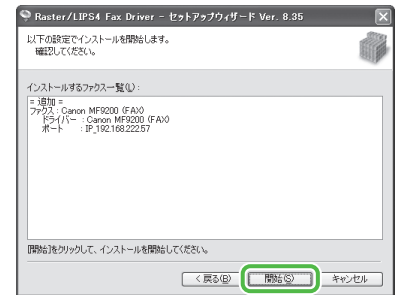
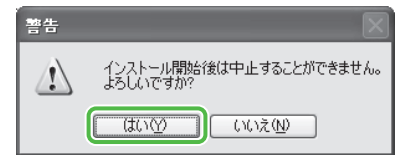
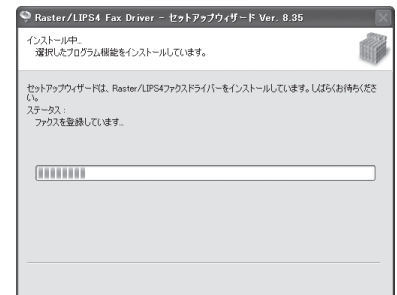
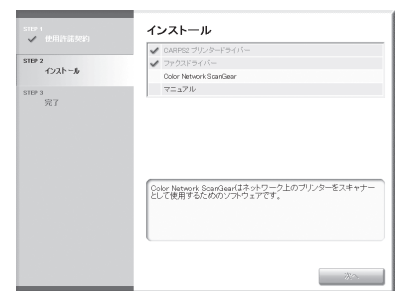
19

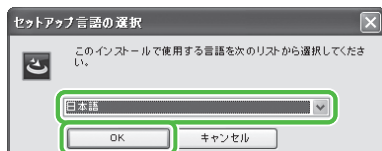
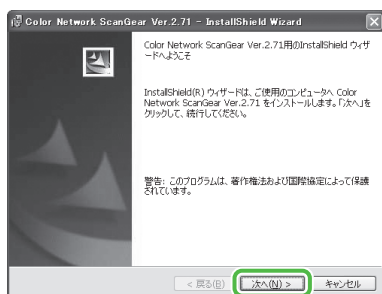
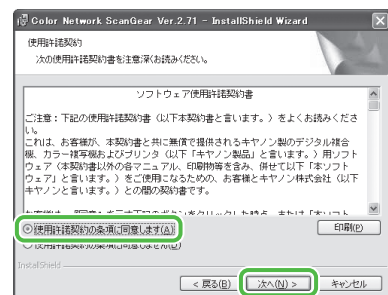
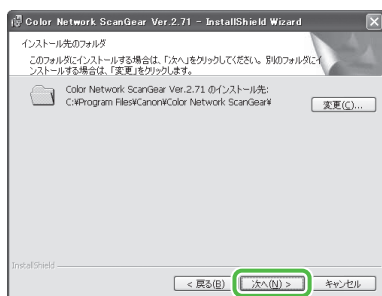
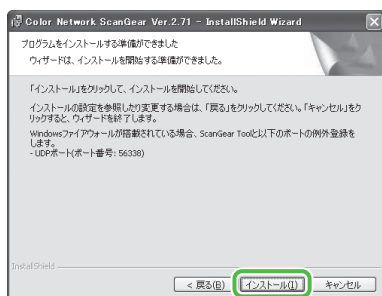
20

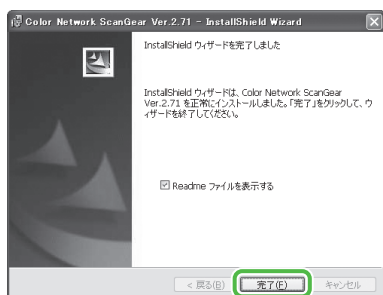
21

22

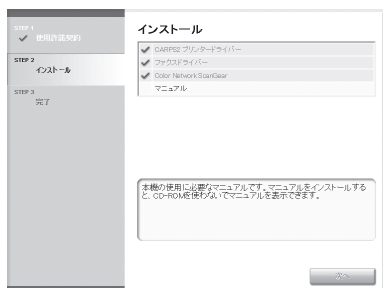
23

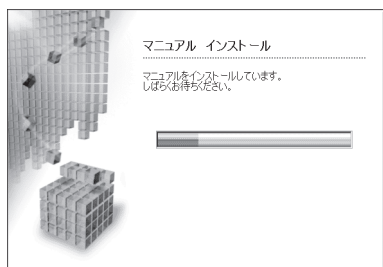
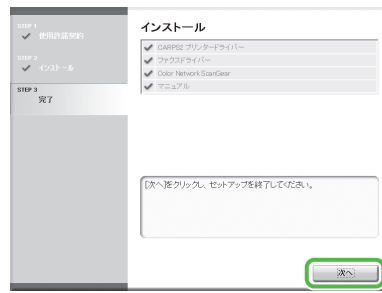
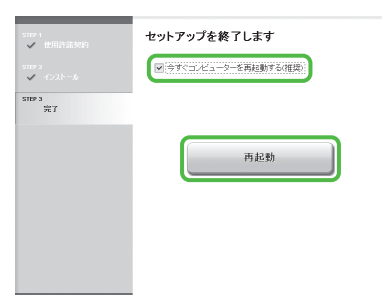
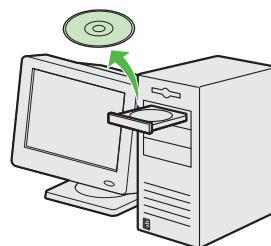
24

ファクスドライバのインストールが終了し、Color Network ScanGear のインストールが始まります。

25

26

27

28

29

30

31

メモ

Readme ファイルが開きますので、内容をよくお読みください。読み終えたら、次の手順に進んでください。

32

Color Network ScanGear のインストールが終了し、マニュアルのインストールが始まります。

33

34

35

36

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM を取り出します。インストールが完了しました。

メモ

Color Network ScanGear を使ってコンピュータからのスキャン操作をするには、ScanGear Tool* からの設定が必要です。「インストールの確認」(→ P.45) で各ドライバのインストールを確認したあと、「Scan GearTool の設定」(→ P.45) に進んでください。

* ScanGear Tool は、上記手順で Color Network ScanGear と同時にインストールされています。

インストールの確認

ドライバが正しくインストールされているか、また本製品が通常使うプリンタとして設定されているかを確認します。

> **メモ**
> アプリケーションから［印刷］画面を開いたときに本製品が選択されていれば、本製品が通常使うプリンタとして設定されています。

1 ［プリンタと FAX］、[デバイスとプリンター]、または［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows 2000 では［スタート］から、［設定］→［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Server 2003 ではタスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 ではタスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。
Windows 7/Server 2008 R2 ではタスクバーの [スタート] から、[デバイスとプリンター] をクリックします。

［Canon MF9200 (FAX)］と［Canon MF9200 Series CARPS2］のアイコンが表示されているか確認します。

2 通常使うプリンタに設定します。

本製品のプリンタのアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定（通常使うプリンターに設定)］をクリックします。

3 ［Color Network ScanGear］がプログラムリストに表示されているか確認します。

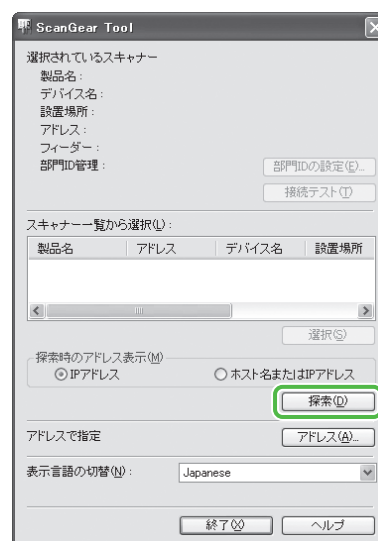
［スタート］から、［(すべての）プログラム］を選択します。

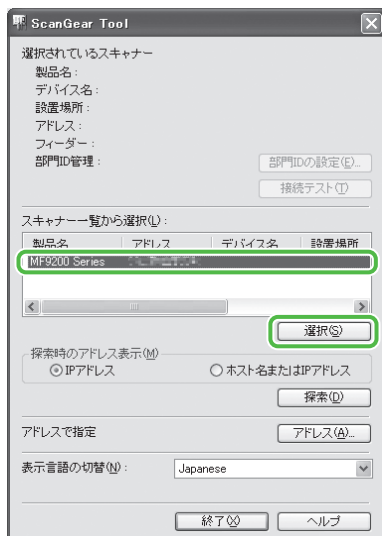
ScanGear Tool の設定

Color Network ScanGear を使ってコンピュータからのスキャン操作をするために、使用するネットワーク上のスキャナ（本製品）を、ScanGear Tool であらかじめ選択しておく必要があります。以下の手順にしたがって、ScanGear Tool の設定を行ってください。

1 ［スタート］メニューから、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）→［Color Network ScanGear］ →［ScanGear Tool］を選択します。

ScanGear Tool が起動します。

2 ［探索］をクリックします。

［スキャナー一覧から選択］に、検索されたスキャナが表示されます。

3 使用するスキャナ（ここでは、本製品）を選択したあと、［選択］をクリックします。

［選択されているスキャナー］に、選択したスキャナの情報が表示されます。

 メモ

- スキャナを自動検索すると、サブネット（同一ネットワーク ID を持つネットワーク）内のスキャナのみが一覧表示されます。
- 選択したスキャナが使用できるかどうかを確認するには、スキャナを選択したあと、［接続テスト］をクリックします。
- ［IP アドレスで指定］をクリックして、IP アドレスを直接入力して本製品を使用するスキャナとして選択することもできます。詳細は、e- マニュアル「スキャンする」「コンピュータからスキャン操作する」を参照してください。

4 ［終了］をクリックします。

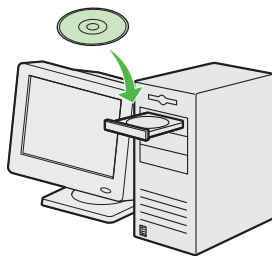
ScanGear Tool が終了します。

USB 接続用のインストール

インストールする前に

- **以下の手順は、Windows XP Professional の画面を使用して説明しています。**
- **ソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に USB ケーブルを接続すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。この場合は、［キャンセル］をクリックして USB ケーブルを外してください。**
- **管理者モードでログオンしてください。**
- **USB ケーブルを接続する前に、本製品の電源が入っていることを確認してください。**
- **各手順の画面上の緑色の枠で囲まれたボタンをクリックすると、次の手順に進みます。**

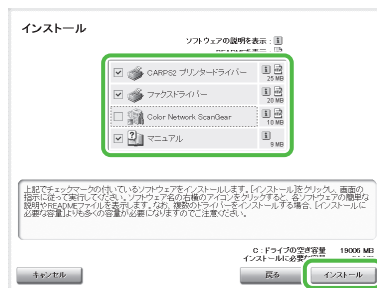
インストール手順

1

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM をセットします。

2

［CARPS2/FAX CD-ROM Setup］画面が表示されない場合は、タスクバーの［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックします。
Windows 2000：デスクトップ上の［マイコンピュータ］をダブルクリックします。
Windows Vista/7/Server 2008：タスクバーの［スタート］→［コンピュータ (コンピューター)］をクリックします。

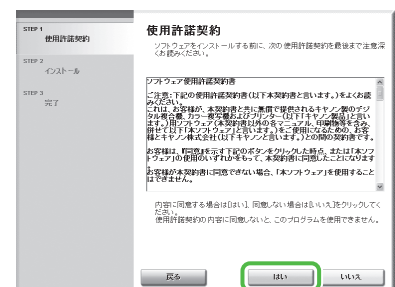
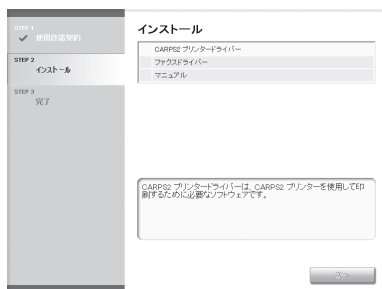
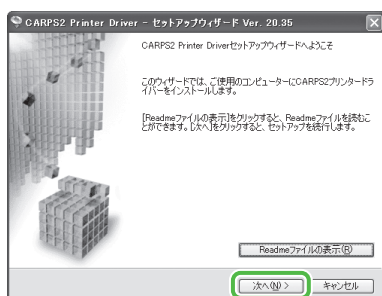
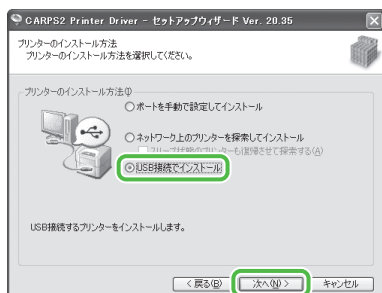
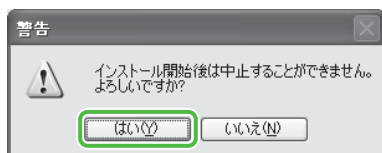
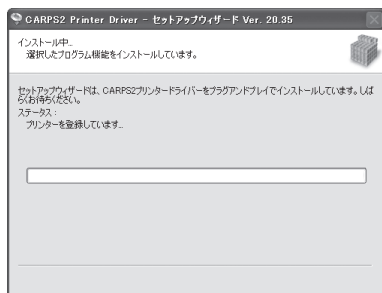
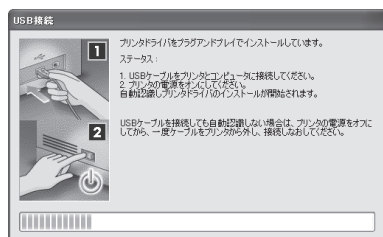
次に、CD-ROM アイコンを開き、［MInst (MInst.exe)］をダブルクリックします。

3

CARPS2 プリンタードライバー、ファクスドライバー、マニュアルを選択します。

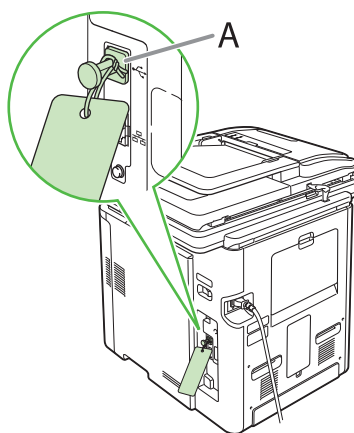
メモ
次の手順は、CARPS2 プリンタドライバ、ファクスドライバ、マニュアルを一度にインストールする手順について説明しています。

メモ

- Color Network ScanGear はネットワーク接続でのみ使用できるアプリケーションです。本製品を USB 接続でご使用になる場合は、Color Network ScanGear のインストールは必要ありませんので、チェックボックスからチェックを外してください。
- ファクスドライバのみをインストールする場合は、ここでファクスドライバのみを選択して手順 14 からはじめてください。または、ファクスドライバインストールガイドを参照してください。（CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM）
- ディスク容量が足りないためソフトウェアをインストールできない場合は、エラーメッセージが表示されます。ディスクの空き容量を増やしてから、もう一度インストールしてください。

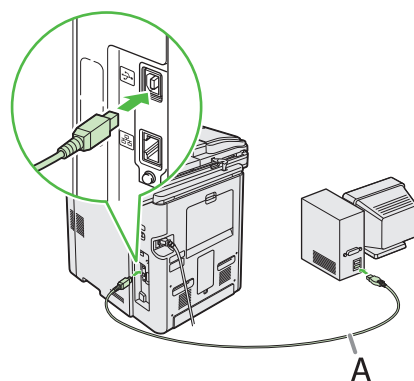
4

5

6

7

8

9

10

 メモ

以下のダイアログボックスが表示された場合は［再試行］を選択してインストールを続けてください。

11

本体後部の USB キャップ（A）を取り外します。

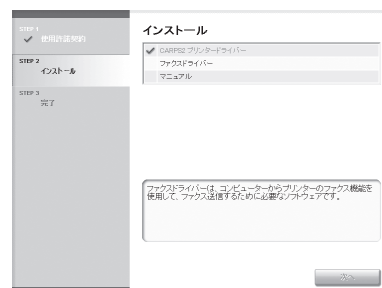
メモ

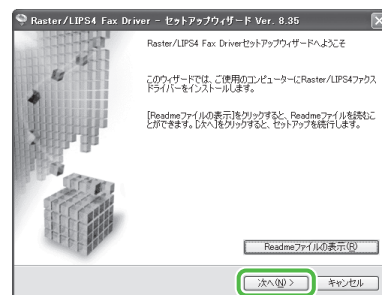
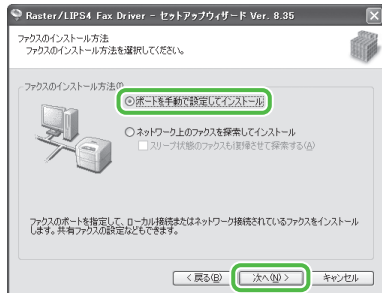
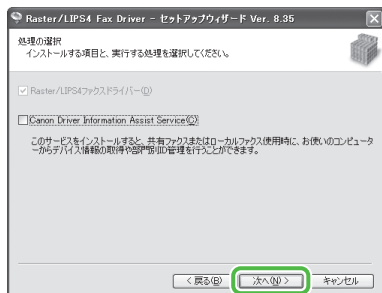
USB キャップは紐を引いて取り外してください。

12

本製品とコンピュータを USB ケーブル（A）で接続します。

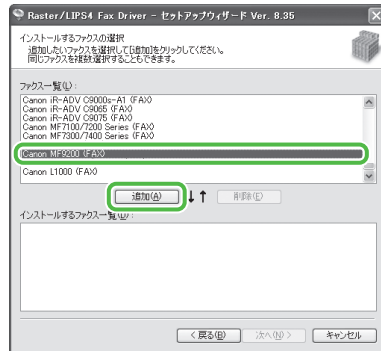
 メモ

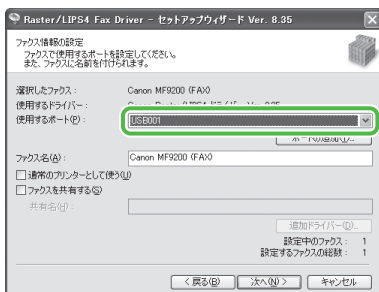
新しいハードウェアウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを続けてください。

13

プリンタドライバのインストールが終了し、ファクスドライバのインストールが始まります。

14

15

16

メモ

- 共有プリンタ環境で使用する場合は、プリントサーバー側のコンピュータに［Canon Driver Information Assist Service］をドライバとともにインストールしてください。画質に関するプリンタの特性情報をクライアントコンピュータに正しく伝えることが可能となり、また部門管理を行えるようになります。
- コンピュータに Canon Driver Information Assist Service がインストールされている場合はこの画面は表示されません。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］をクリックします。［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

17

18

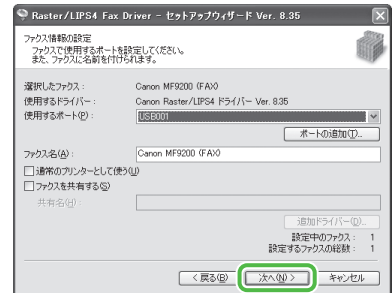
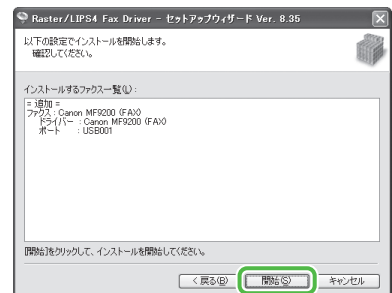
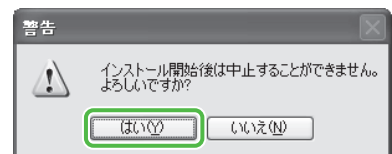
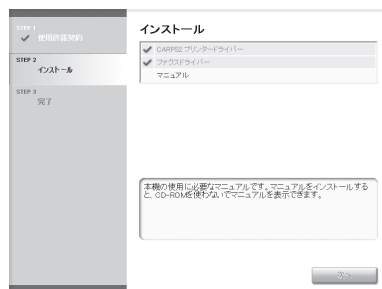
19

使用する USB ポートを［使用するポート］から選択します。ポートを追加するには［ポートの追加］をクリックして、追加する USB ポートを選択してください。

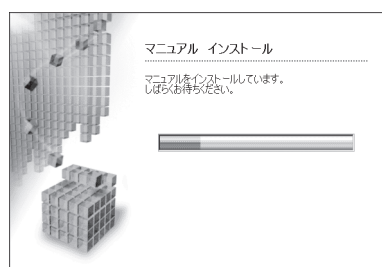
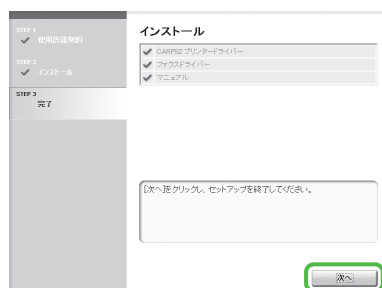
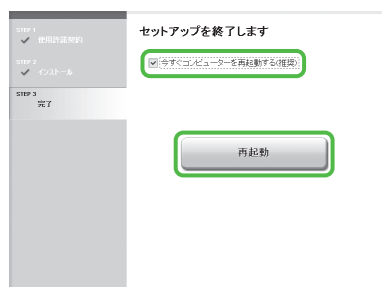
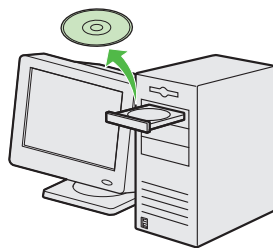
20

21

22

23

24

ファクスドライバ のインストールが終了し、マニュアル のインストールが始まります。

25

26

27

28

CARPS2/FAX ユーザソフトウェア CD-ROM を取り出します。インストールが完了しました。

インストールの確認

ドライバが正しくインストールされているか、また本製品が通常使うプリンタとして設定されているかを確認します。

メモ
アプリケーションから［印刷］画面を開いたときに本製品が選択されていれば、本製品が通常使うプリンタとして設定されています。

1 ［プリンタと FAX］、［デバイスとプリンター］、または［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows 2000 では［スタート］から、［設定］→［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Server 2003 ではタスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 ではタスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。
Windows 7/Server 2008 R2 ではタスクバーの［スタート］から、［デバイスとプリンター］をクリックします。

［Canon MF9200 (FAX)］と［Canon MF9200 Series CARPS2］のアイコンが表示されているか確認します。

2 通常使うプリンタに設定します。

本製品のプリンタのアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定（通常使うプリンターに設定）］をクリックします。

ユーザマニュアル CD-ROM（e- マニュアル）

ユーザマニュアル CD-ROM（e- マニュアル）は、お使いのコンピュータの画面に CD-ROM 内の HTML マニュアルを表示することができます。HTML マニュアル（e- マニュアル）では本製品のすべての機能と「困ったときは」について説明しています。

動作環境

ユーザマニュアル CD-ROM（e- マニュアル）は、以下の動作環境で使用することができます。

● OS（オペレーティング　システム）

- Windows 2000 SP4、Windows XP、Windows Vista、Windows 7
  （Windows 2000 SP4 の場合の対象ブラウザは Internet Explorer 6 以降）
- Mac OS X v10.4.x、v10.5.x、v10.6.x

● ブラウザ

- Windows：Internet Explorer 6、7、8
- Mac：Safari 2、3、4

● Flash Player

Flash Player 8 以降

メモ

- お使いのコンピュータの CPU とメモリは、上記の対応 OS の動作環境に従ってください。
- お使いのディスプレイは、1024 × 768 ピクセル以上の画面解像度が必要です。
- お使いのコンピュータに Flash Player がインストールされていない場合、または、インストールされている Flash Player のバージョンが上記の Flash Player の条件に満たない場合は、正常に動作しないことがあります。

ユーザマニュアル CD-ROM（e- マニュアル）の使い方

Windows をお使いの場合、e- マニュアルを使用するには、以下の手順に従ってください。

1 ユーザマニュアル CD-ROM をコンピュータにセットします。
2 使用する言語を選択します。
3［インストールする］または［マニュアルを表示する］をクリックします。
4［インストールする］をクリックした場合は、お使いのコンピュータに e- マニュアルがインストールされ、デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。
5［マニュアルを表示する］をクリックした場合は、e- マニュアルが表示されます。
6 インストールした e- マニュアルを表示する場合は、デスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックします。

Macintosh をお使いの場合、e- マニュアルを使用するには以下の手順に従ってください。

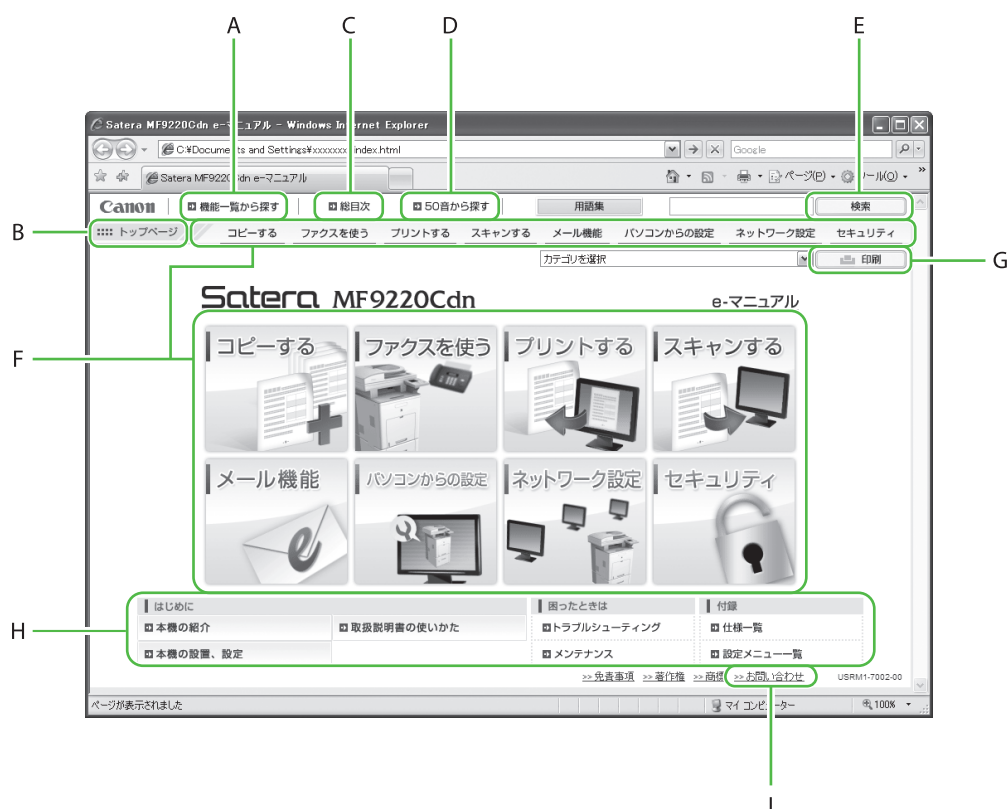
1 ユーザマニュアル CD-ROM をコンピュータにセットします。
2 ユーザマニュアル CD-ROM アイコンを開いて、［MF9200_Manual_jp］フォルダを保存する場所へドラッグ＆ドロップします。
3［MF9200_Manual_jp］フォルダを開きます。
4 index.html をダブルクリックすると、e- マニュアルが表示されます。

メモ

- お使いの OS によっては、セキュリティ保護のためのメッセージが表示される場合があります。このときは、コンテンツの表示を許可してください。
- ユーザマニュアル CD-ROM をコンピュータに入れてもメニューが表示されない場合は、タスクバーの［スタート］→［マイコンピュータ］（Windows Vista/7 の場合はタスクバーの［スタート］→［コンピュータ（コンピューター）］をクリックします。Windows 2000/XP の場合はデスクトップ上の［マイコンピュータ］をダブルクリック）をクリックしたあと、CD-ROM アイコンを開き、start.exe をダブルクリックしてください。

e- マニュアルを起動すると、以下の画面（トップページ）が表示されます。

メモ

Windows XP の Internet Explorer などのブラウザをお使いの場合、ActiveX がポップアップを背後でブロックすることがあります。e- マニュアルが正しく表示されなかった場合は、ページ上部の情報バーをクリックしてください。

A ［機能一覧から探す］
機能カテゴリのトピックページが表示されます。

B ［トップページ］
トップページに戻ります。

C ［総目次］
総目次が表示されます。

D ［50 音から探す］
機能カテゴリと付属カテゴリのトピックページが表示されます。

E ［キーワード検索］
入力した語句が含まれるトピックページのタイトルを別ウィンドウで一覧表示します。タイトルをクリックすると、該当のトピックページが表示されます。

F 機能カテゴリ
該当する機能トピックのイメージアイコン一覧が表示されます。イメージアイコンまたは［機能一覧を表示］を押すと、機能カテゴリのトピックページが表示されます。

G ［印刷］
全カテゴリまたはカテゴリ別に印刷することができます。

H 付属カテゴリ
メンテナンス、トラブルシューティングなど機能以外について説明している、付属カテゴリのトピックページが表示されます。

I ［お問い合わせ］
別ウィンドウでお問い合わせ先が表示されます。

メモ

- 検索を行う際は、キーワードとなる語句を入力してください。入力する語句によっては、正しい検索結果が表示されないことがあります。
- トピックページでは、カテゴリごと、またはトピックごとに印刷することができます。
- Web ブラウザの設定によっては、トピックページの背景の色やイメージが印刷されないことがあります。

お問い合わせ窓口について

本製品に操作上問題が発生したときは、基本操作ガイド、e- マニュアル「困ったときには」を参照してください。問題が解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera、および NetSpot はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

［受付時間］　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-3375 (010)　XXXXXXXXXX

PRINTED IN CHINA